

Ⅱ 結果の詳細

2 質問紙調査

全国学力・学習状況調査結果チャート（８，９ページ参照）における各領域について、それぞれに該当する質問事項の中で顕著な特徴の見られるものを取り上げ分析した。さらに、「教員研修の充実」「カリキュラム・マネジメントへの取組」「主体的・対話的で深い学びの充実」「指導改善サイクルの確立を目指して」に関わる質問事項については、別頁（７４ページ以降参照）を設けて詳述した。主に平成２８年度調査結果を中心に、質問事項によって経年変化や回答結果と正答率の関連及び散布図を活用した。

- ※以下の「肯定的回答」とは、「当てはまる，どちらかといえば当てはまる」，「よく行った，どちらかといえば行った」など肯定的な選択肢を選択した割合の合計である。
- ※文中の，「同程度」は全国との差が 0.9 ポイントの範囲内，「やや高い，やや低い」は全国との差が 1.0～4.9 ポイントの範囲内，「高い，低い」は全国との差が 5.0～9.9 ポイントの範囲内，「著しく高い，著しく低い」は全国との差が 10.0 ポイント以上であることを表している。
- ※表中の，「全国との差」欄の， は全国を下回ることを示しており，△は全国との差 5.0 ポイント以上，▼は全国との差 5.0 ポイント以下であることを示している。
- ※「散布図」は，各都道府県の肯定的回答の割合について，児童・小学校を横軸に，生徒・中学校を縦軸に対応させ，○印で示したものである。（■は千葉県，▲は全国平均を示している。）

（１）児童生徒質問紙調査

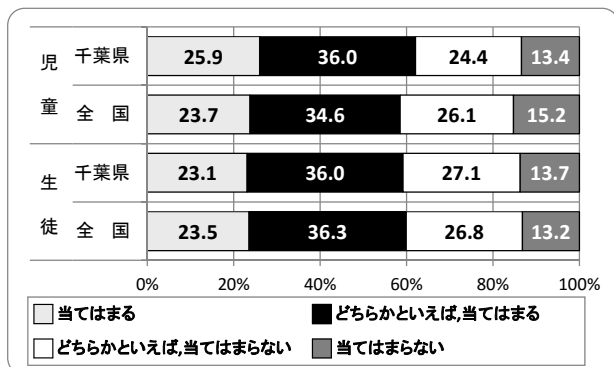
① 学習に対する関心・意欲・態度

ア 国語への関心等

質問番号	児童 生徒	質 問 事 項	児童(肯定的回答)		生徒(肯定的回答)	
			千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
61	61	国語の勉強は好きですか	61.9	3.6	59.1	-0.7
62	62	国語の勉強は大切だと思いますか	91.0	-0.3	87.8	-1.3
63	63	国語の授業の内容はよく分かりますか	81.0	0.3	71.5	-2.6
64	64	読書は好きですか	75.2	0.6	74.5	4.6
65	65	国語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか	88.6	-0.6	83.0	-1.6
66	66	国語の授業で目的に応じて資料を読み，自分の考えを話したり，書いたりしていますか	67.3	0.3	60.5	-1.7
67	67	国語の授業で意見などを発表するとき，うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	62.2	-0.1	55.4	-1.3
68	68	国語の授業で自分の考えを書くとき，考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	72.8	-1.2	65.5	-1.2
69	69	国語の授業で文章を読むとき，段落や話のまとめりとともに内容を理解しながら読んでいますか	76.8	-1.3	70.9	-0.4
70	70	解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について，どのように解答しましたか	73.5	-1.6	69.6	-2.1

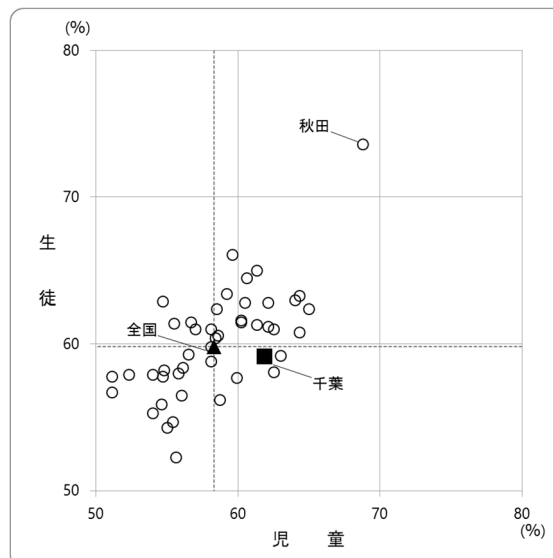
61 国語の勉強は好きですか

【平成２８年度調査結果】



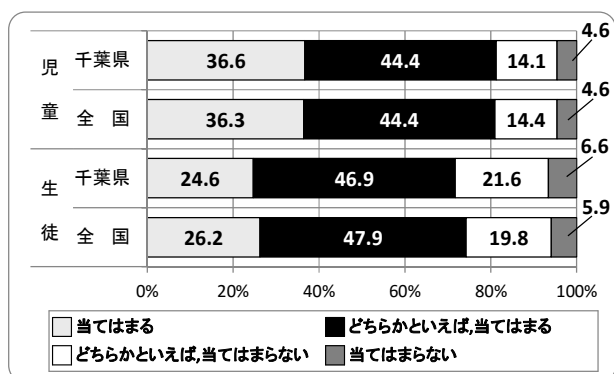
肯定的回答の割合は，児童は全国と比べてやや高く，生徒は全国と同程度である。児童の国語への関心の高さは，継続して全国を上回っている。

【散布図】

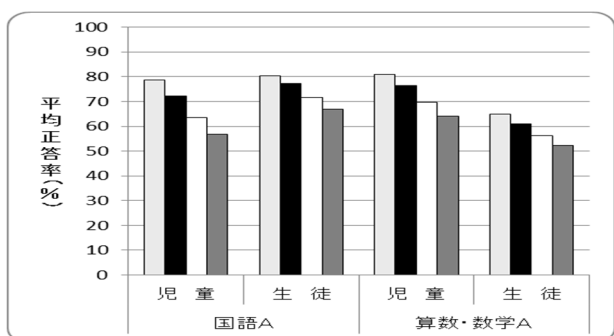


63 国語の授業の内容はよく分かりますか

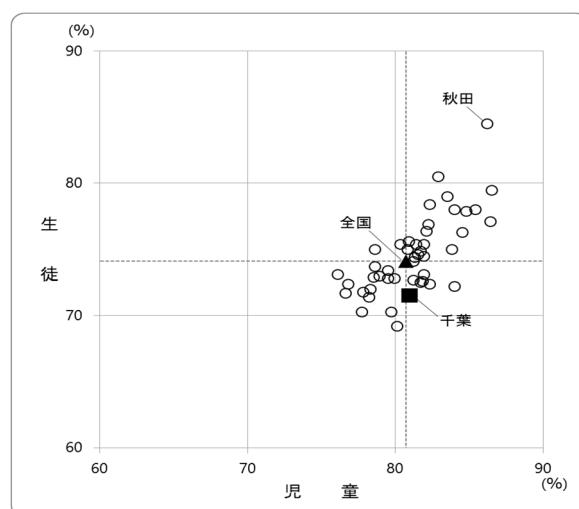
【平成28年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



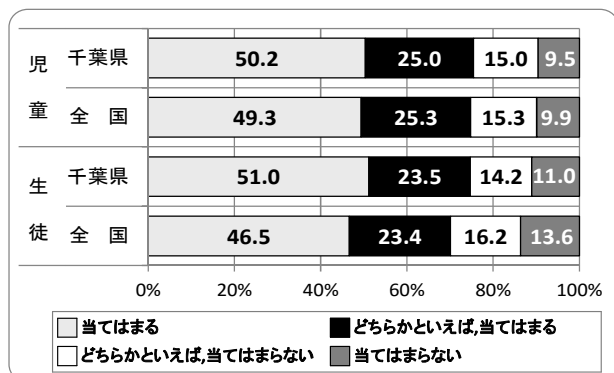
【散布図】



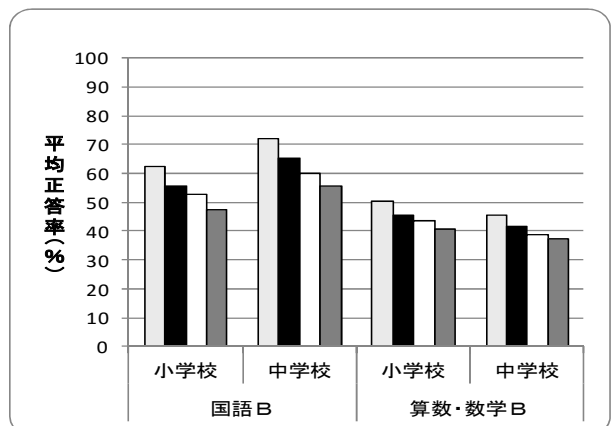
肯定的回答の割合は、児童は全国と同程度であり、生徒は全国と比べてやや低い。「よく分かる」と回答した児童生徒ほど正答率が高く、児童にその傾向がより強く見られる。

64 読書は好きですか

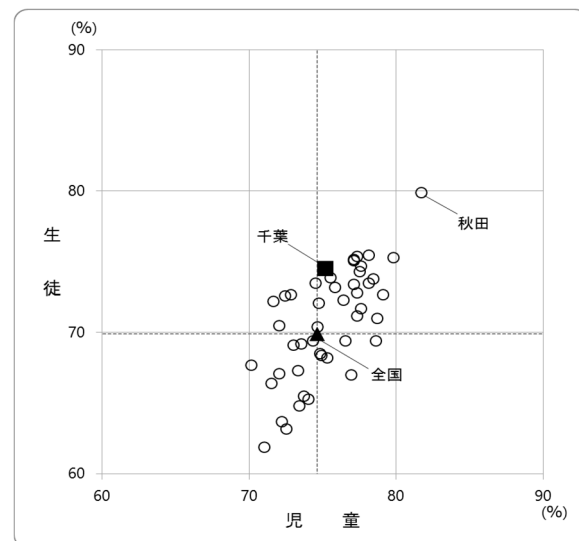
【平成28年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



【散布図】



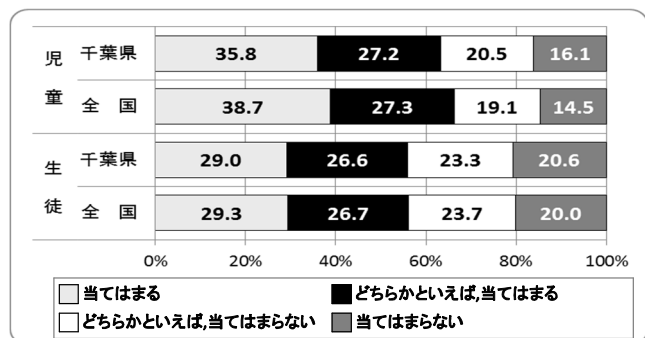
肯定的回答の割合は、児童は全国と同程度であり、生徒は全国と比べてやや高い。読書が好きな児童生徒ほど、正答率が高い傾向が見られる。

イ 算数・数学への関心等

質問番号	質問事項		児童(肯定的回答)		生徒(肯定的回答)	
			千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
71	71	算数・数学の勉強は好きですか	63.0	-3.0	55.6	-0.4
72	72	算数・数学の勉強は大切だと思いますか	90.5	-1.4	78.5	-2.0
73	73	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	77.2	-3.0	66.8	-2.6
74	74	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか(小)／数学ができるようになりたいと思いますか(中)	73.2	-2.6	90.5	-0.8
75	75	算数・数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	78.7	-2.3	70.3	-1.8
76	76	算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	67.8	0.4	43.0	1.1
77	77	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	88.7	-1.2	69.1	-2.4
78	78	算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	79.8	-0.7	68.7	-0.3
79	79	算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ・根拠を理解するようにしていますか	79.9	-0.9	68.8	-1.0
80	80	算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	83.0	-1.8	80.8	-0.3
81		言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、それらの問題について、どのように解答しましたか	69.5	-2.5		
	81	解答を言葉や数、式を使って説明する問題ありましたが、それらの問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか			45.7	-4.3

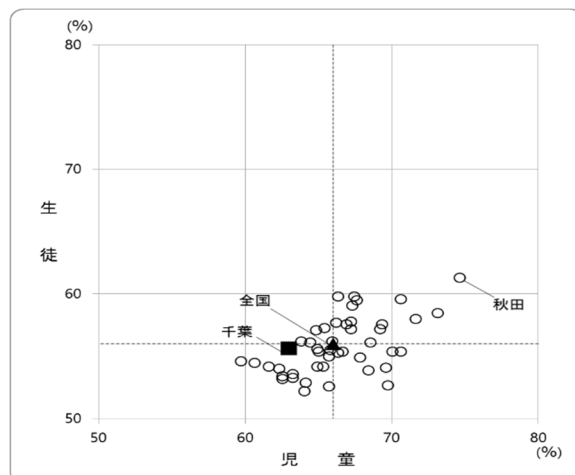
71 算数・数学の勉強は好きですか

【平成28年度調査結果】



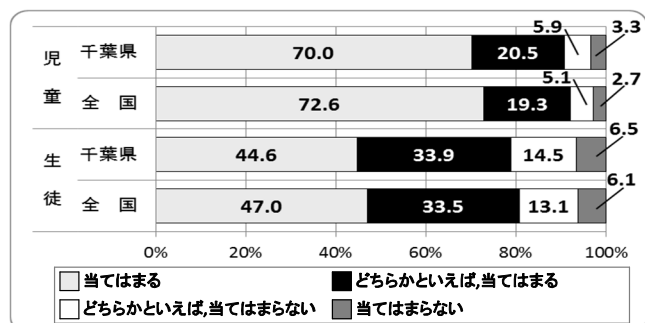
肯定的回答の割合は、児童は全国と比べてやや低く、生徒は全国と同程度である。

【散布図】

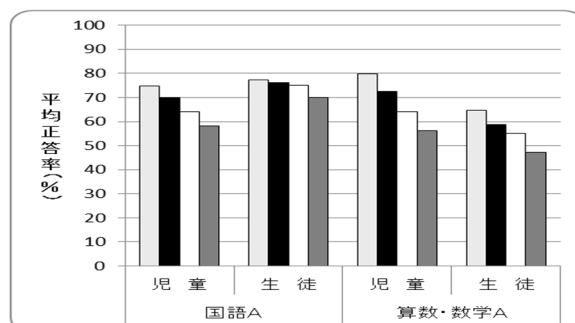


72 算数・数学の勉強は大切だと思いますか

【平成28年度調査結果】



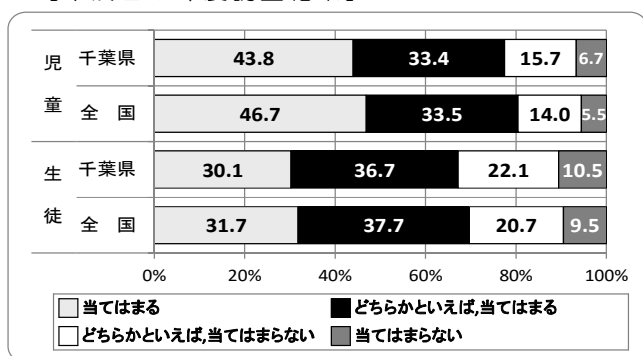
【回答結果と正答率の関連】



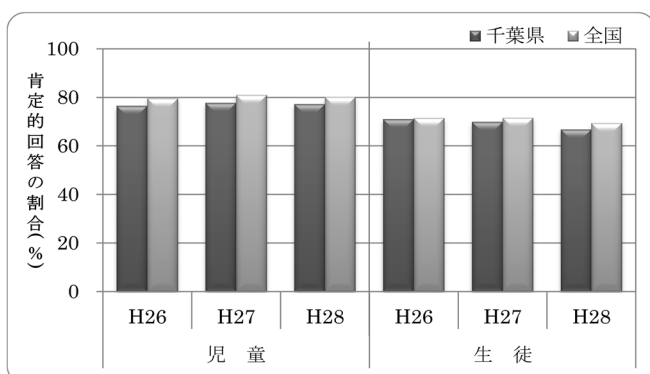
肯定的回答の割合は、全国と比べてやや低い。算数・数学の勉強は大切だと思っている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

73 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか

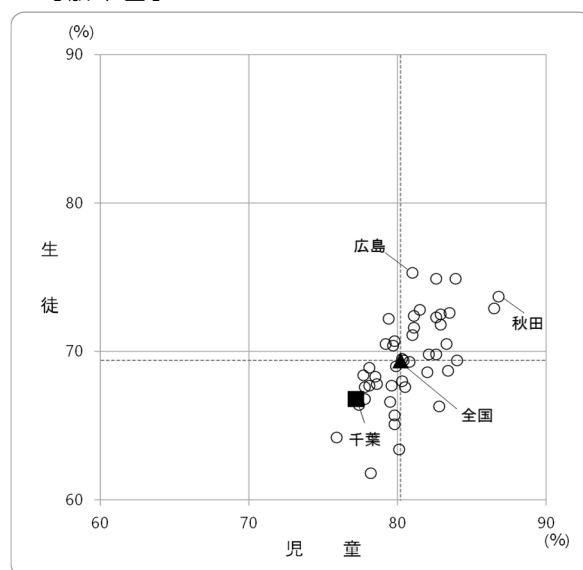
【平成28年度調査結果】



【経年変化】



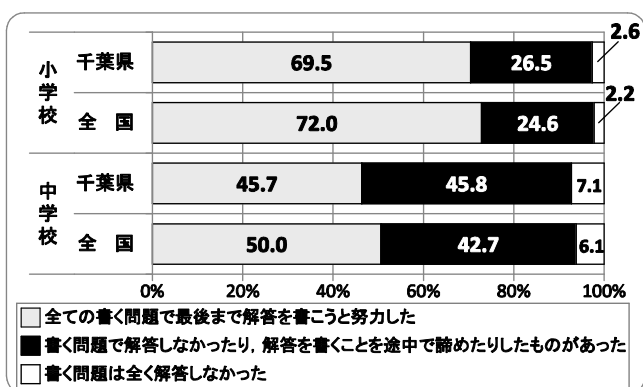
【散布図】



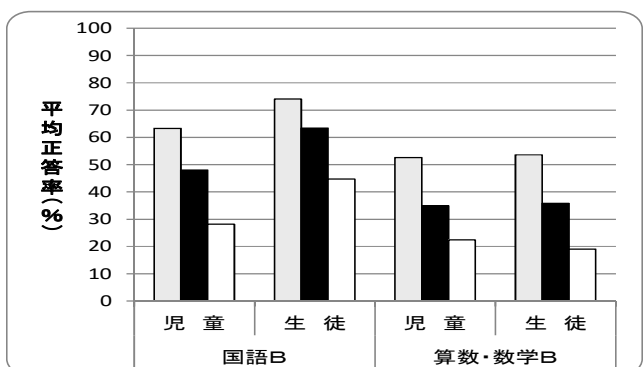
肯定的回答の割合について、児童は70%を超えているが、全国の中では下位に位置している。生徒は全国と比べてやや低い。

81 (小) 言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。

【平成28年度調査結果】

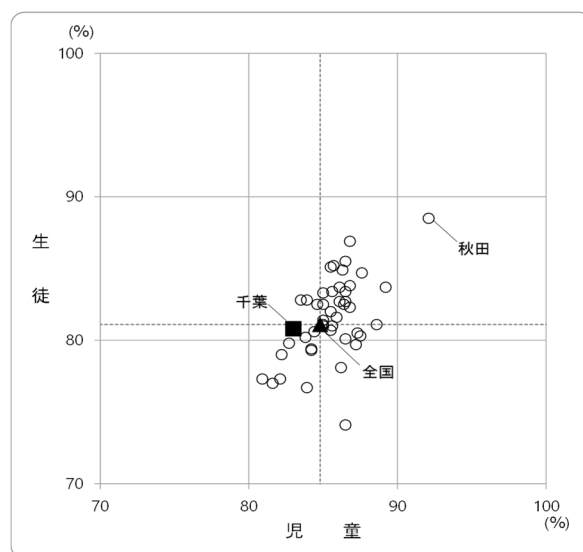


【回答結果と正答率の関連】



81 (中) 解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか。

【散布図】



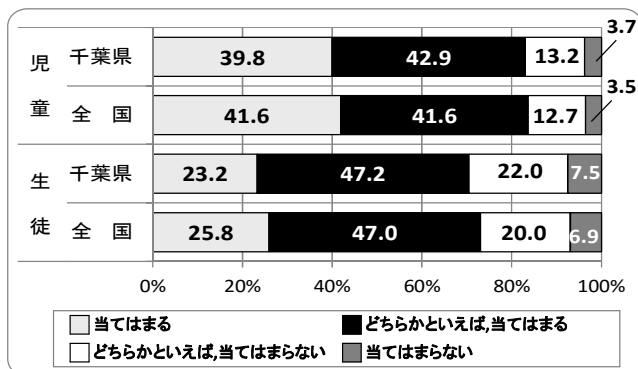
肯定的回答の割合は、児童生徒ともに全国と比べてやや低い。「B問題」の記述式では、肯定的回答をしている児童生徒ほど、正答率が高い傾向が見られる。

ウ 総合的な学習の時間への関心等

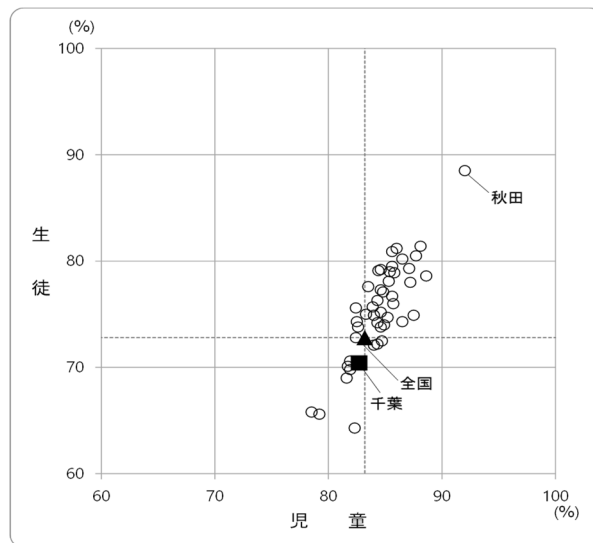
質問番号	質問事項	児童(肯定的回答)		生徒(肯定的回答)	
		千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
44	44 「総合的な学習の時間」の勉強は好きだと思いますか	79.1	1.9	68.9	0.6
45	45 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	82.7	-0.5	70.4	-2.4
46	46 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	68.0	2.6	53.1	-4.6

45 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか

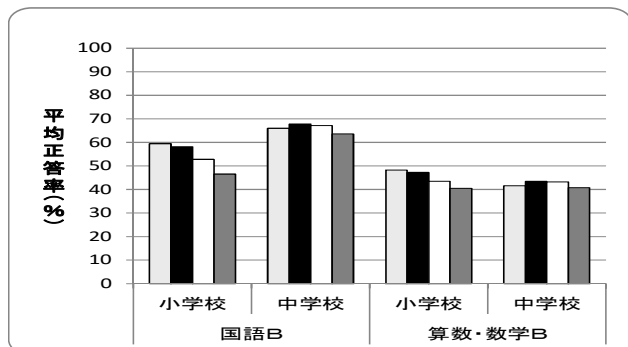
【平成28年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



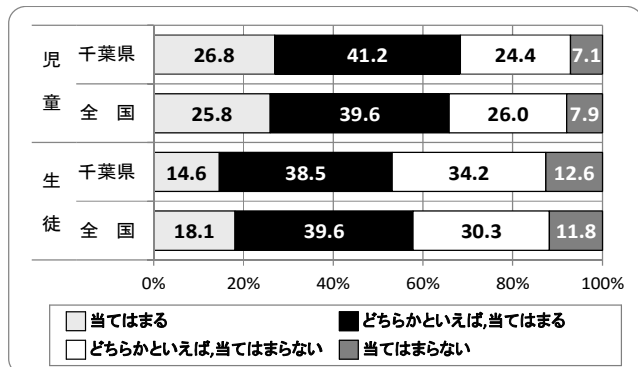
【回答結果と正答率の関連】



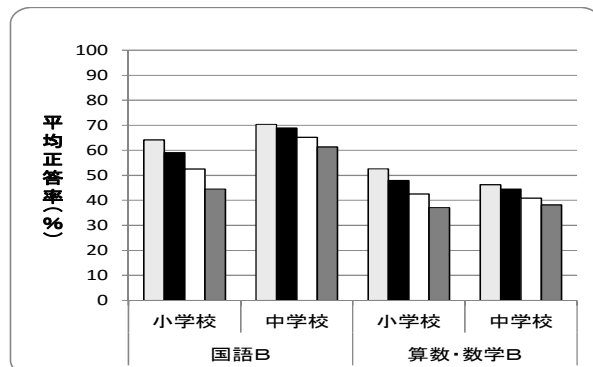
肯定的回答の割合は、児童は全国と同程度であり、生徒は全国と比べてやや低い。肯定的回答をしている児童ほど正答率が高い傾向が見られる。

46 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

【平成28年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



肯定的回答の割合は、児童は全国と同程度であり、生徒は全国と比べてやや低い。積極的に授業に臨む児童生徒ほど、正答率が高い傾向が見られる。

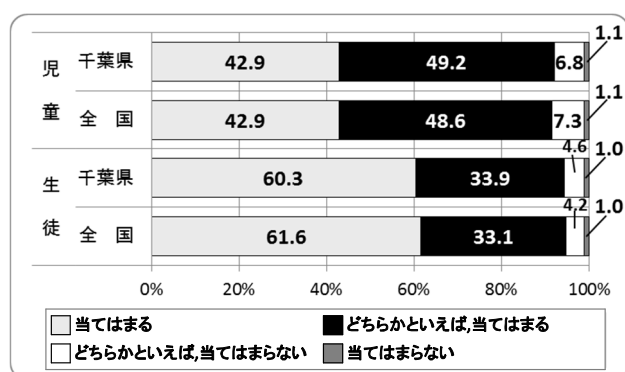
② 規範意識・自尊感情

ア 規範意識

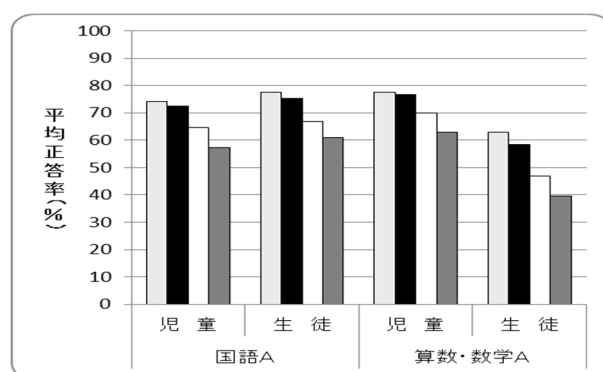
質問番号	児童 生徒	質 問 事 項	児童(肯定的回答)		生徒(肯定的回答)	
			千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
39	39	学校のきまり・規則を守っていますか	92.1	0.6	94.2	-0.5
40	40	友達との約束を守っている	97.0	-0.2	96.8	-0.4
41	41	人が困っているときは、進んで助けている	85.1	0.5	84.8	1.0
42	42	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.0	-0.6	92.6	-1.0
43	43	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	93.6	-0.2	92.3	-0.5

39 学校のきまり・規則を守っていますか

【平成28年度調査結果】



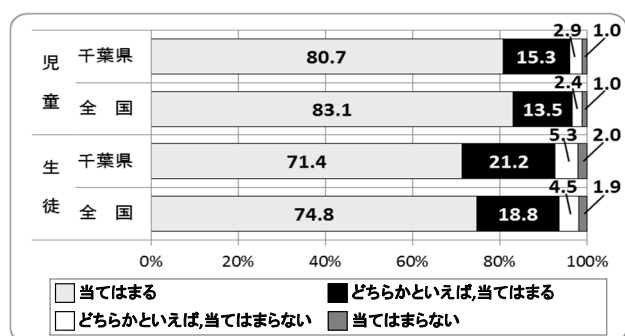
【回答結果と正答率の関連】



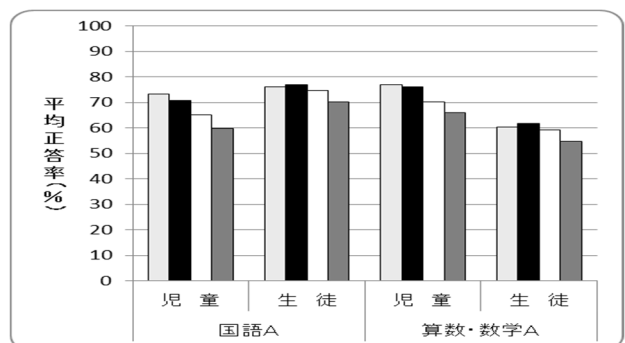
肯定的回答の割合は、児童生徒ともに90%を超えており、全国と比べて同程度である。きまり・規則を守っている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

42 いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか

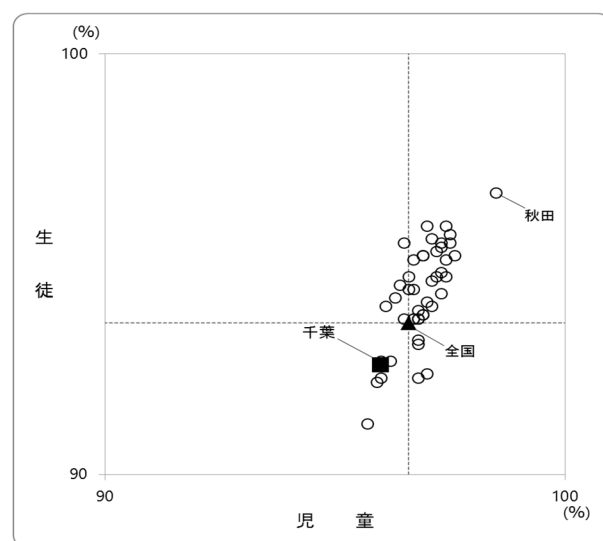
【平成28年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



【散布図】



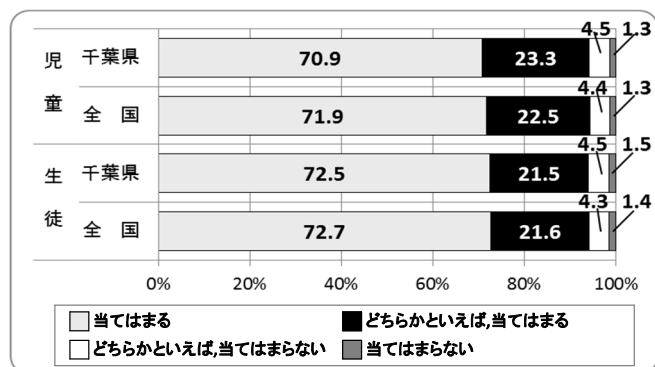
肯定的回答の割合は、児童は全国と同程度であり、生徒はやや低い。いじめをいけないことだと感じている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

イ 自尊心

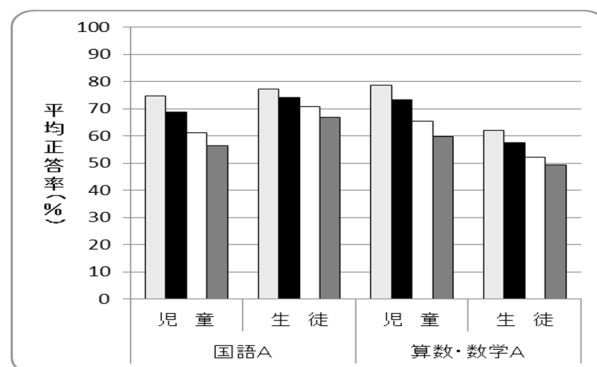
質問番号 児童 生徒		質 問 事 項	児童(肯定的回答)		生徒(肯定的回答)	
			千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
4	4	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	94.2	-0.2	94.0	-0.3
5	5	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	75.9	-0.2	70.7	1.1
6	6	自分には、よいところがあると思いますか	76.4	0.1	66.9	-2.4
9	9	将来の夢や目標を持っていますか	86.1	0.8	70.6	-0.5

4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか

【平成28年度調査結果】



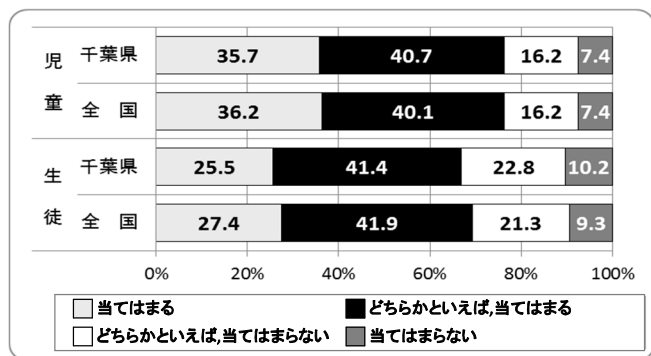
【回答結果と正答率の関連】



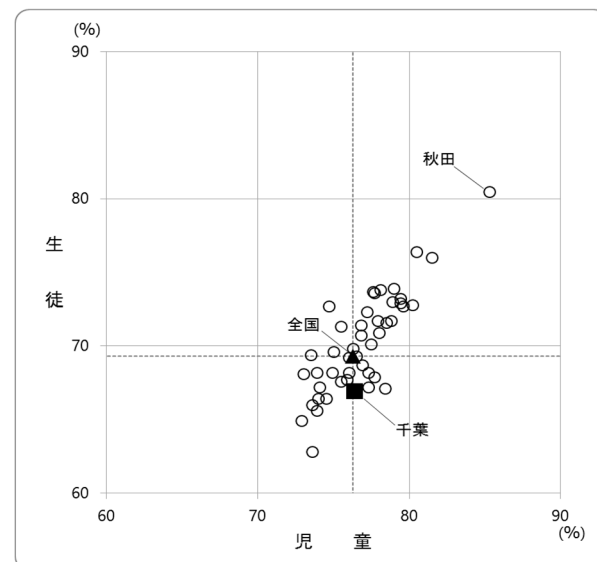
肯定的回答の割合は、児童生徒ともに90%を超えており、全国と比べて同程度である。達成感を味わっている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

6 自分には、よいところがあると思いますか

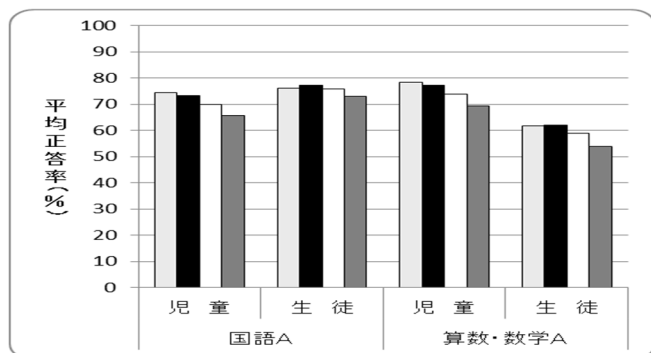
【平成28年度調査結果】



【散布図】



【回答結果と正答率の関連】



肯定的回答の割合は、児童は全国と比べて同程度で、生徒はやや低い。自分のよさを認識している児童ほど正答率が高い傾向が見られる。

③ 学習の基盤となる活動・習慣

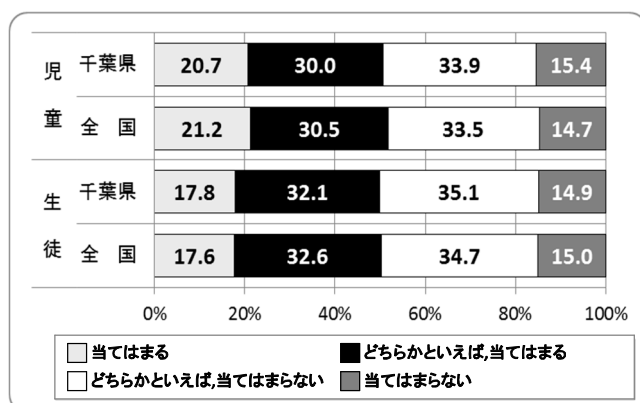
ア 言語活動・読解力

質問番号		質 問 事 項	児童(肯定的回答)		生徒(肯定的回答)	
			千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
7	7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	50.7	-1.0	49.9	-0.3
8	8	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	92.2	-0.5	92.3	-0.7
48	48	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	83.5	-1.6	83.1	-1.0
49	49	授業では、学級の友達との(生徒との)間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	81.4	-2.0	77.0	-0.8
57	57	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	37.7	-1.6	38.2	1.2
58	58	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	44.6	-0.4	37.0	0.0
59	59	学級の友達・生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	68.9	0.6	64.2	-0.6

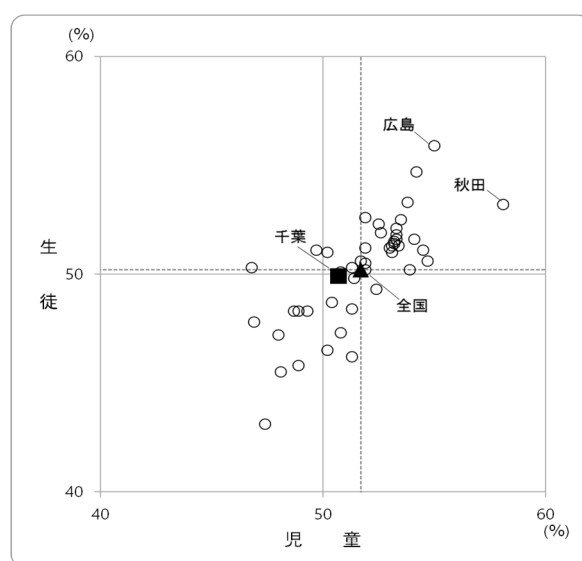
※57, 58の「肯定的回答の割合」とは、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答した割合の合計である。

7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか
---	----------------------------

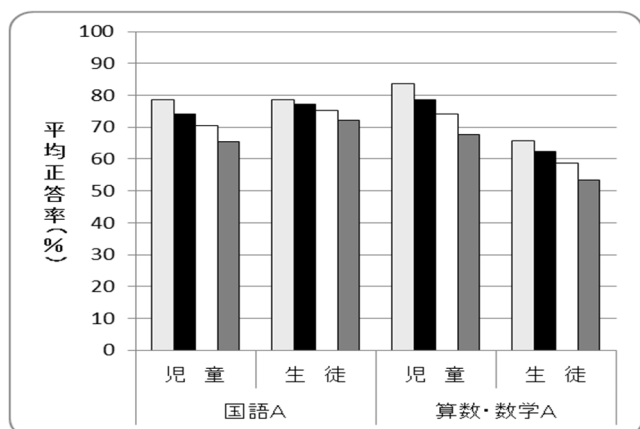
【平成28年度調査結果】



【散布図】



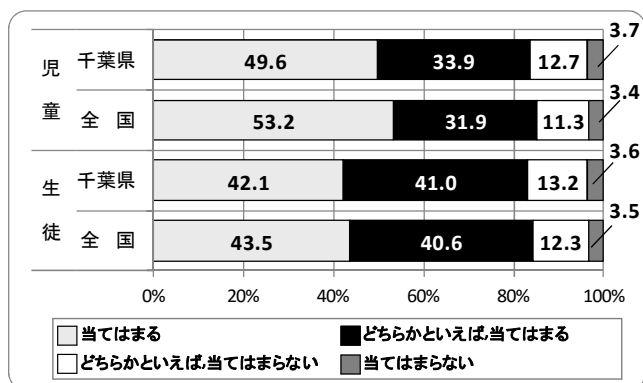
【回答結果と正答率の関連】



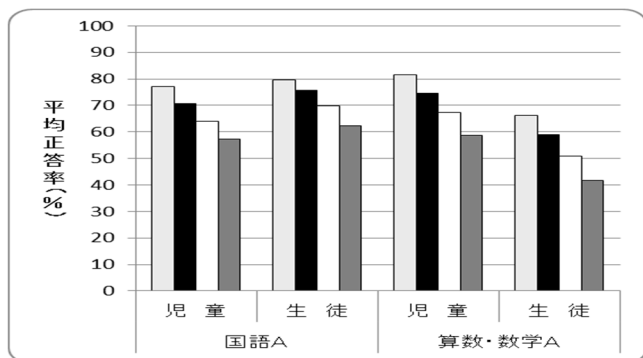
肯定的回答の割合は、生徒は全国と比べて同程度で、児童はやや低い。発表することを得意だと感じている児童生徒ほど正答率が高く、児童にその傾向がより強く見られる。

48 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか

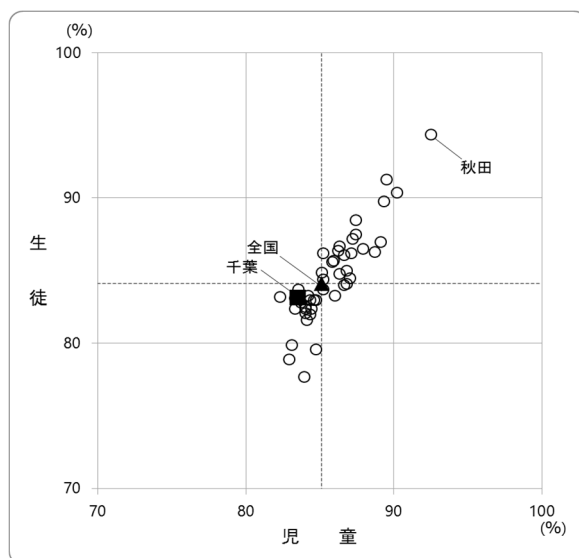
【平成28年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



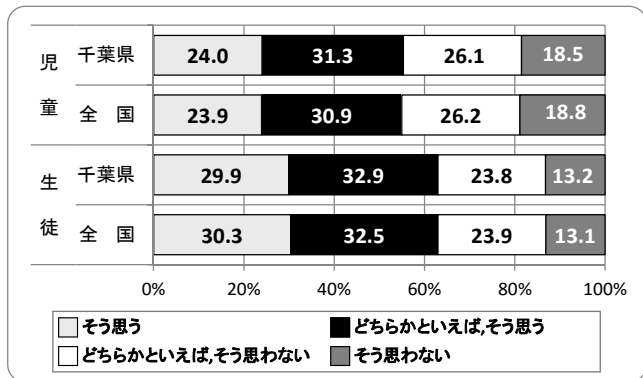
【散布図】



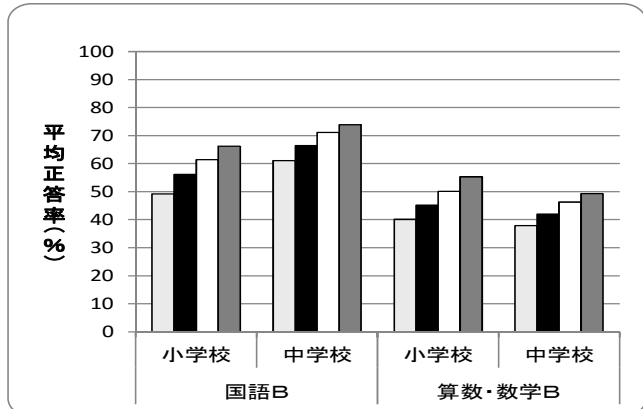
肯定的回答の割合は、児童生徒ともに、全国と比べてやや低い。自分の考えを発表する機会が与えられていたと思っている児童生徒ほど正答率が高い傾向がある。

58 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか

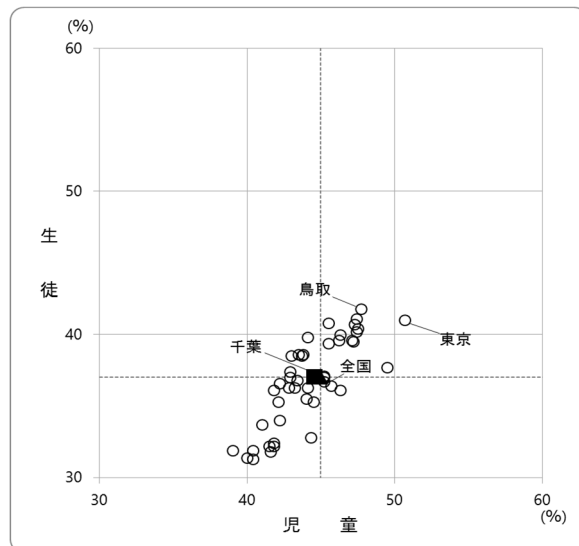
【平成28年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



【散布図】



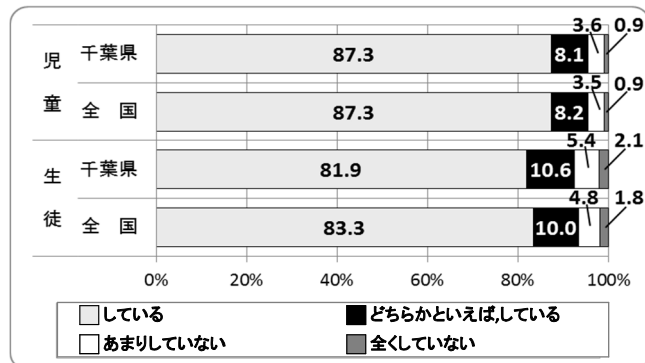
肯定的回答の割合は、児童生徒ともに全国と同程度である。自分の考えを他人に説明したり、文章に書いたりすることを難しいと思わない児童生徒ほど正答率が高い傾向がある。

イ 生活習慣

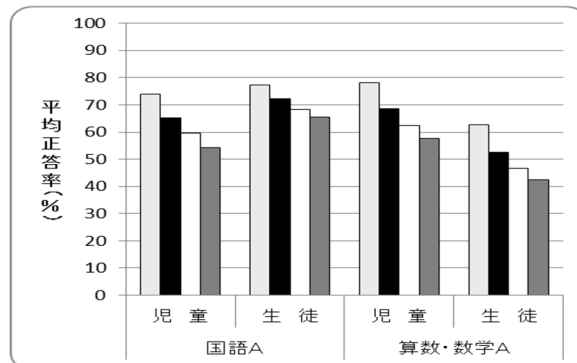
質問番号 児童 生徒	質 問 事 項	児童(肯定的回答)		生徒(肯定的回答)	
		千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
1	1 朝食を毎日食べていますか	95.4	-0.1	92.5	-0.8
2	2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	80.6	0.5	74.5	-0.7
3	3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.0	0.2	92.4	0.1

1 朝食を毎日食べていますか

【平成28年度調査結果】

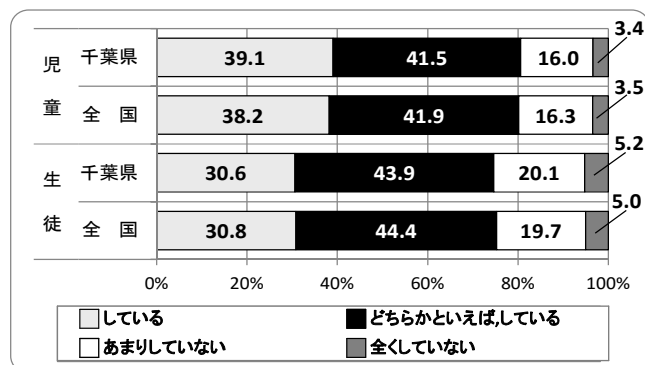


【回答結果と正答率の関連】

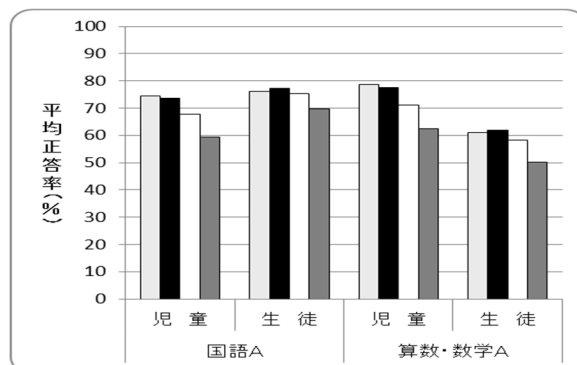


2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

【平成28年度調査結果】

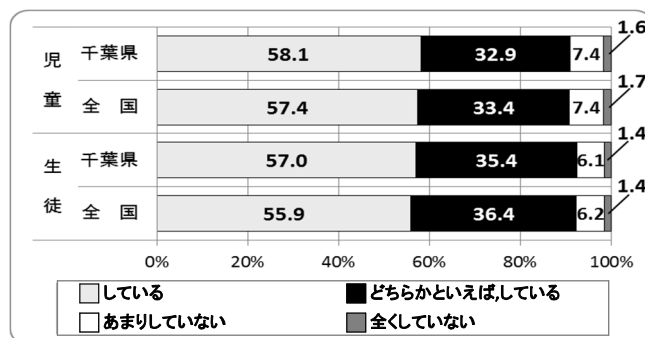


【回答結果と正答率の関連】

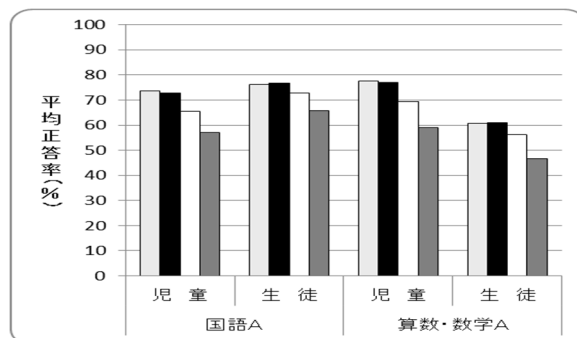


3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

【平成28年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



朝食を毎日食べている割合は、児童生徒ともに90%を超えており、全国と比べて同程度である。毎日、同じくらいの時刻に寝ていると回答した割合は、児童生徒ともに、全国と比べて同程度である。毎日、同じくらいの時刻に起きていますと回答した児童生徒の割合は、全国と同程度である。

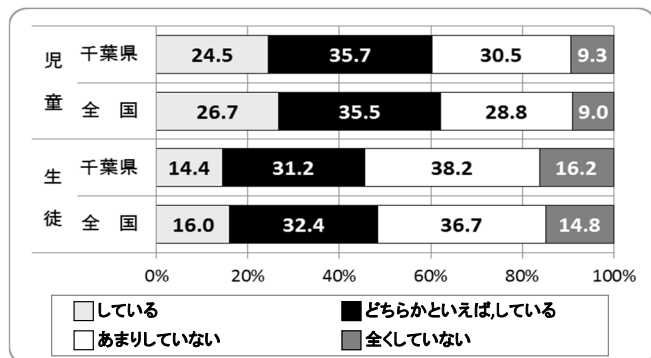
全ての質問において、肯定的回答をした児童生徒ほど正答率が高く、特に「朝食を毎日食べていますか」という質問ではその傾向が顕著である。

ウ 学習習慣

質問番号	質問事項	児童(肯定的回答)		生徒(肯定的回答)	
		千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
21	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	60.2	-2.0	45.6	-2.8
22	家で、学校の宿題をしていますか	96.5	-0.5	86.6	-3.5
23	家で、学校の授業の予習をしていますか	43.3	0.0	35.8	1.6
24	家で、学校の授業の復習をしていますか	51.9	-3.3	49.5	-1.5
25	家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか(新規)	60.3	-4.3	64.2	-4.0

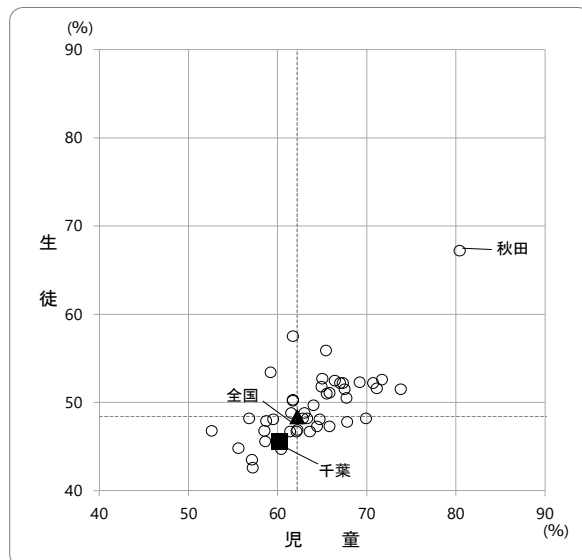
21 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか

【平成28年度調査結果】



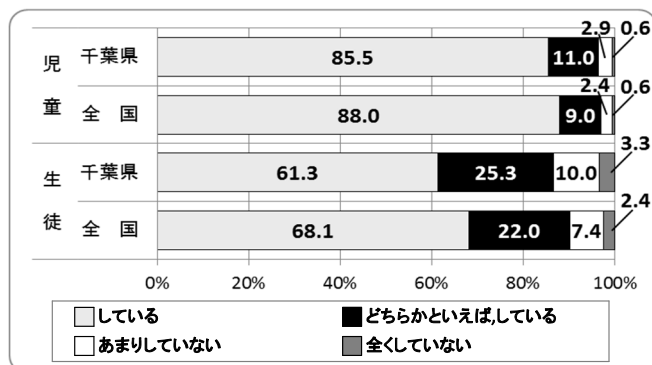
家で計画を立てて勉強をしている割合は、児童生徒ともに全国と比べてやや低い。また、生徒は全国の中でも下位に位置している。

【散布図】

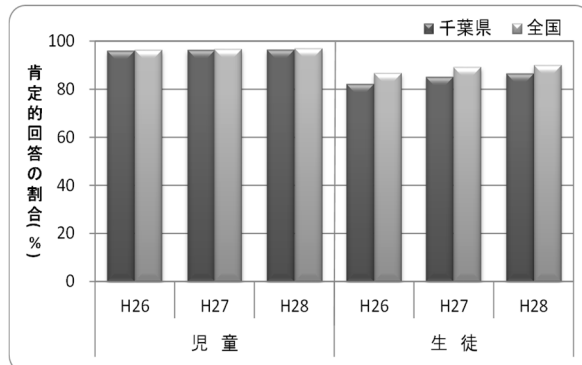


22 家で、学校の宿題をしていますか

【平成28年度調査結果】



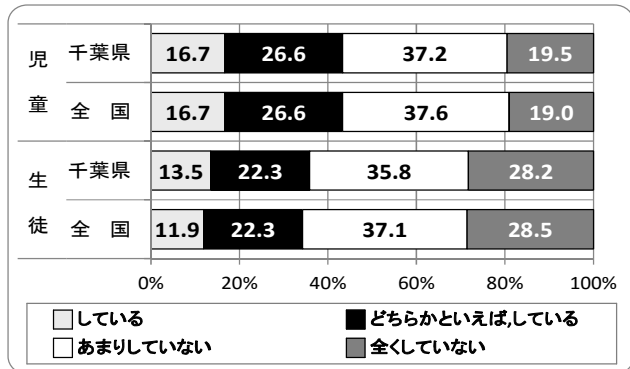
【経年変化】



家で学校の宿題をしている児童の割合は、全国と同程度で、生徒はやや低い。しかし、経年変化を見ると、生徒は少しずつではあるが、改善が見られる。

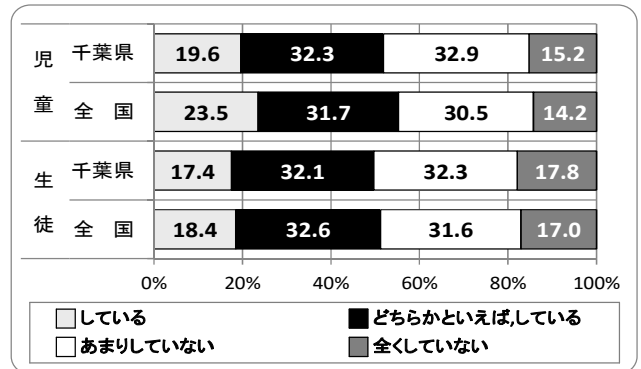
23	家で、学校の授業の予習をしていますか
----	--------------------

【平成28年度調査結果】



24	家で、学校の授業の復習をしていますか
----	--------------------

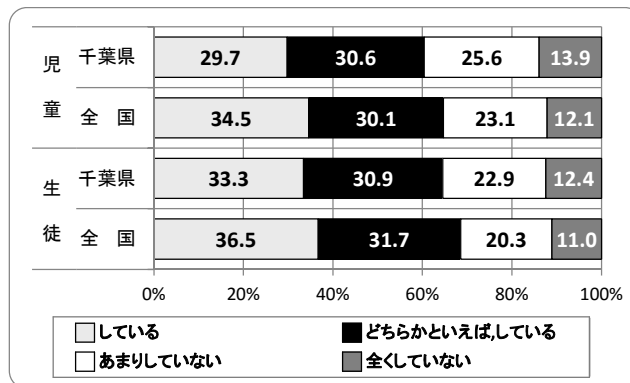
【平成28年度調査結果】



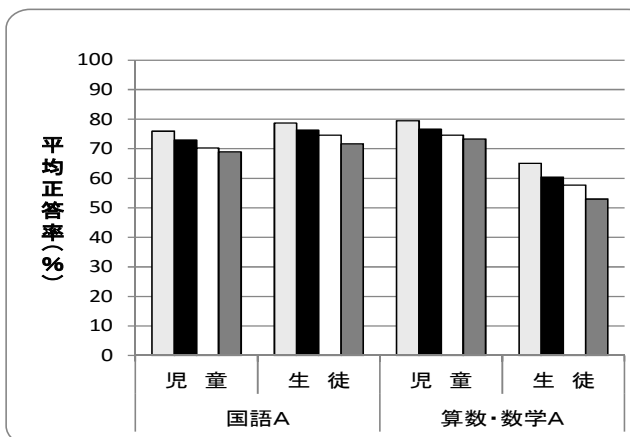
家で授業の予習をしている割合は、児童は全国と比べて同程度で、生徒はやや高い。家で授業の復習をしている割合は、児童生徒ともに、全国と比べてやや低い。復習をしている児童と生徒の割合については、ほとんど差は見られない。しかし、予習をしていると回答した生徒の割合が児童より7.5ポイント低い。

25	家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している（新規）
----	---

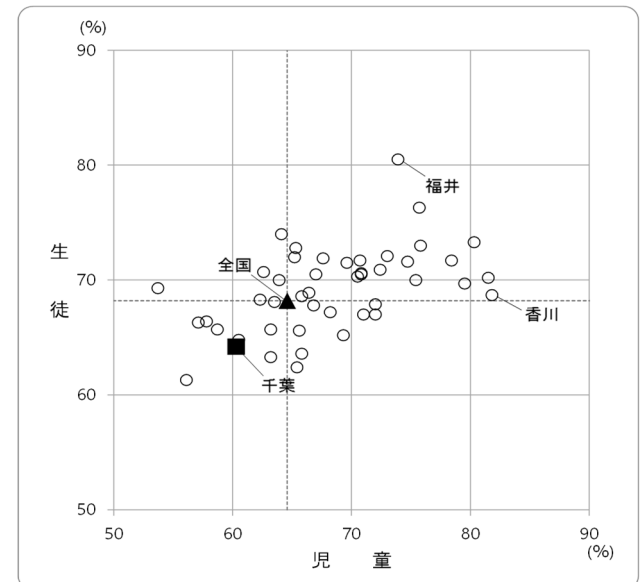
【平成28年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



【散布図】



自学自習において、教科書を使いながら学習している児童生徒は、全国と比べて低く、児童生徒ともに、全国の中でも下位に位置している。また、肯定的回答をした児童生徒ほど、正答率が高い。

(2) 学校質問紙調査

① 教科指導

ア 個に応じた指導

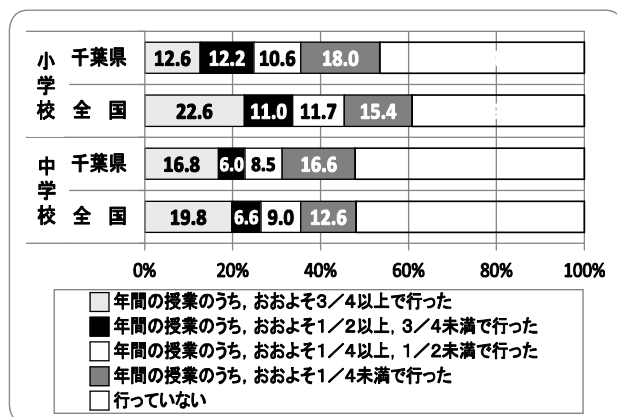
質問番号		質 問 事 項	小学校(肯定的回答)			中学校(肯定的回答)		
小	中		千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
64	64	算数・数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	24.8	-8.8	▼	22.8	-3.6	
65	65	算数・数学の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか	17.1	-7.8	▼	14.8	-6.1	▼
66	66	算数・数学の授業において、前年度に、ティームティーチングによる指導を行いましたか	36.8	3.2		49.0	14.6	△

※64～66の「肯定的回答の割合」とは、年間の授業のうちおおよそ、「3/4以上」、「1/2～3/4」で行ったと回答した割合の合計である。

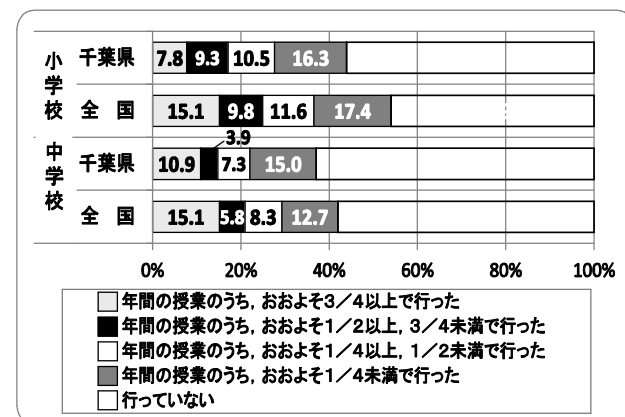
64	算数・数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか
----	--

65	算数・数学の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数指導を行い、発展的な内容を扱いましたか
----	---

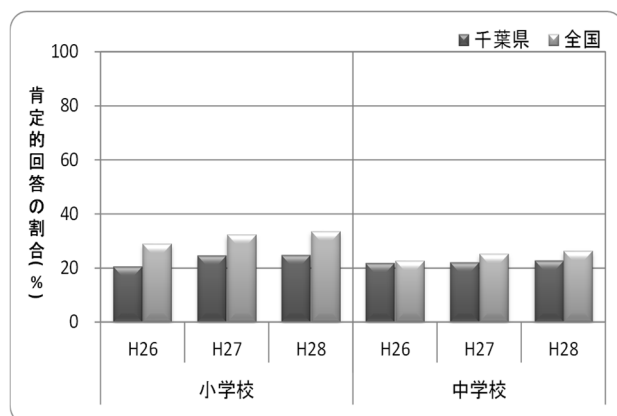
【平成28年度調査結果】



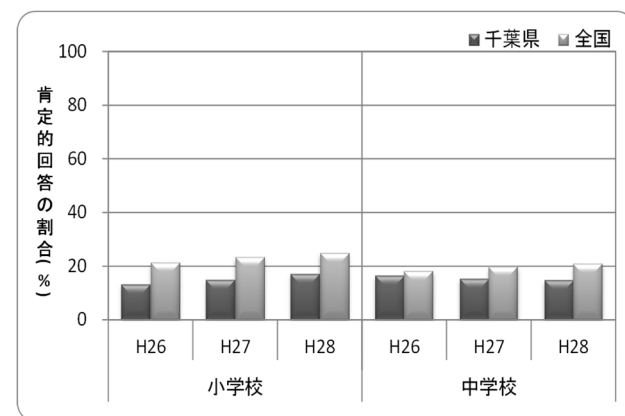
【平成28年度調査結果】



【経年変化】



【経年変化】



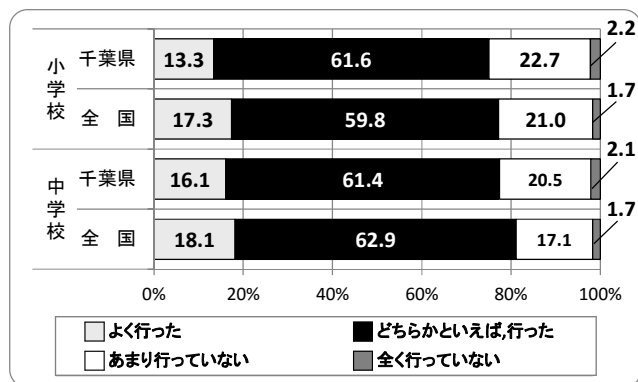
算数・数学の授業における習熟度別の少人数指導について、「前年度に年間の授業のうち、おおよそ1/2以上で行った」割合は、小中学校ともに全国より低く、中学校よりも小学校の方が全国との差が大きい。小中学校ともに、習熟の早いグループに対する少人数指導を行った割合よりも、習熟の遅いグループに対する少人数指導を行った割合の方が高い。ティームティーチングによる指導について、算数・数学では、小学校は全国と同程度である。また、中学校は全国より著しく高い。

イ 国語科の指導法

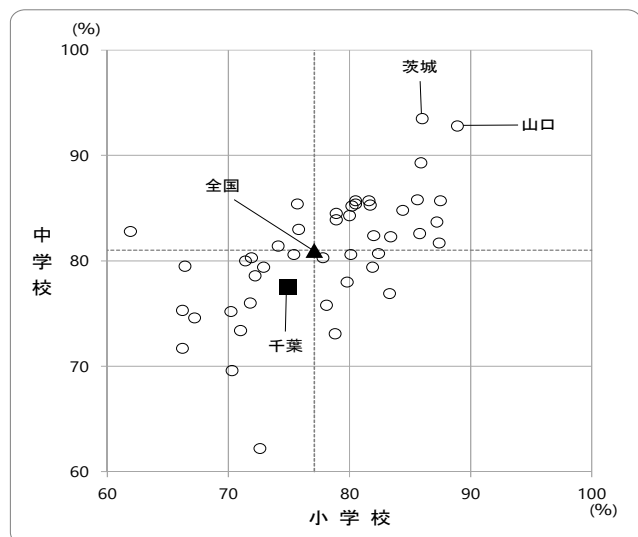
質問番号	小	中	質 問 事 項	小学校(肯定的回答)		中学校(肯定的回答)	
				千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
67	67		国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	74.9	-2.2	77.5	-3.5
68	68		国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	49.8	0.0	63.2	-2.3
69	69		国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	90.9	0.0	84.9	-1.2
70	70		国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	88.0	-4.8	94.6	-0.6
71	71		国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	88.5	1.1	90.6	1.9
72	72		国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	97.1	-0.9	99.2	0.8

67	国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか
----	----------------------------------

【平成28年度調査結果】

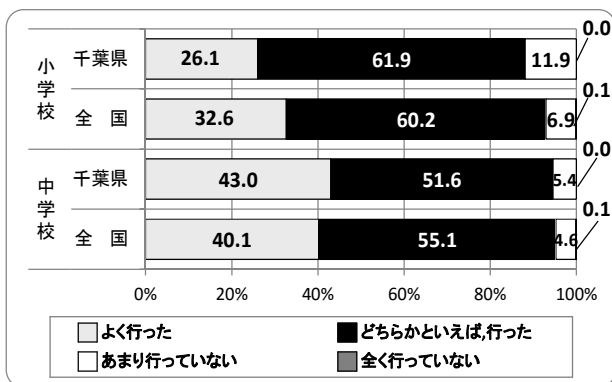


【散布図】

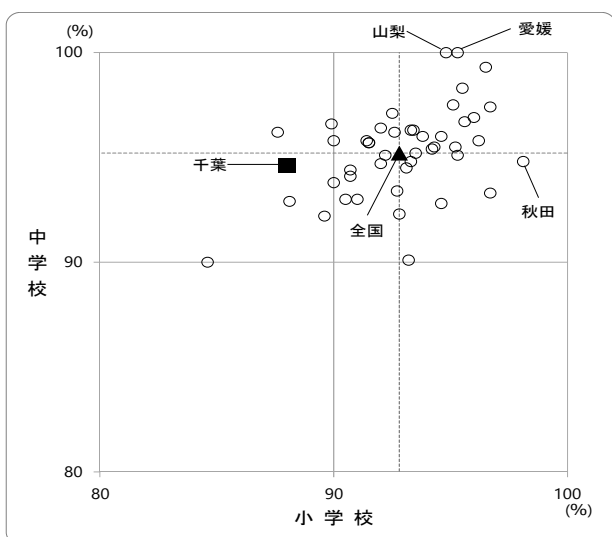


70	国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか
----	-----------------------------------

【平成28年度調査結果】



【散布図】



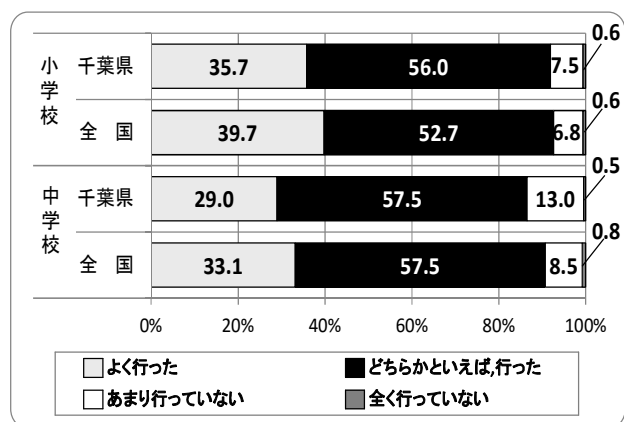
国語の指導として補充的な学習の指導を行った割合は、小中学校ともにやや低い。書く習慣を付ける授業を行った割合は、小学校では全国を下回り、全国の中でも下位に位置している。中学校と比べても、「よく行った」と回答した割合は、16.9ポイント低い。中学校において発展的な学習の指導を行った割合は、小学校よりも13.4ポイント高い。小中学校ともに、発展的な学習の指導を行った割合よりも補充的な学習の指導を行った割合の方が高い。

ウ 算数・数学科の指導法

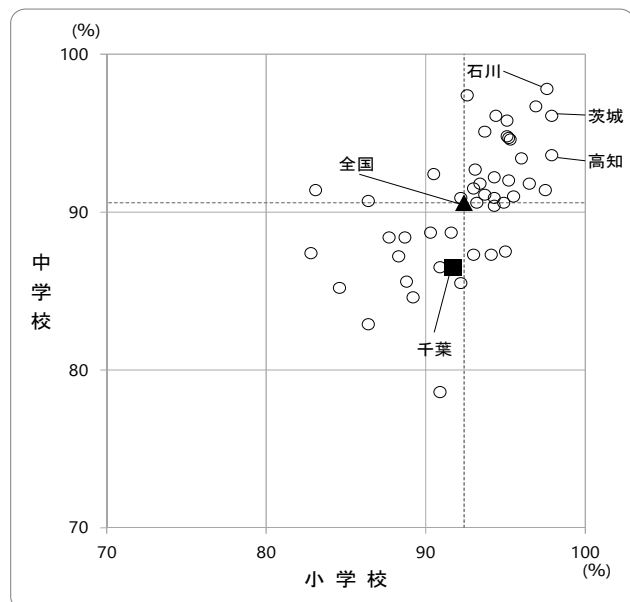
質問番号	小	中	質 問 事 項	小学校(肯定的回答)		中学校(肯定的回答)	
				千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
73	73		算数・数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	91.7	-0.7	86.5	-4.1
74	74		算数・数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	62.1	-2.9	65.3	-3.8
75	75		算数・数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	72.0	-2.1	65.6	-3.6
76	76		算数・数学の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	98.1	0.4	98.7	2.0
77			調査対象である第6学年の児童に対する算数の授業では前年度までに、教科担任制を実施していましたか	6.7	-2.2		

73	算数・数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか
----	-------------------------------------

【平成28年度調査結果】

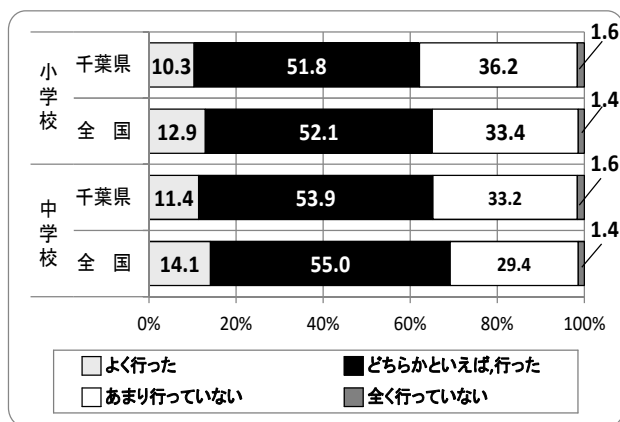


【散布図】

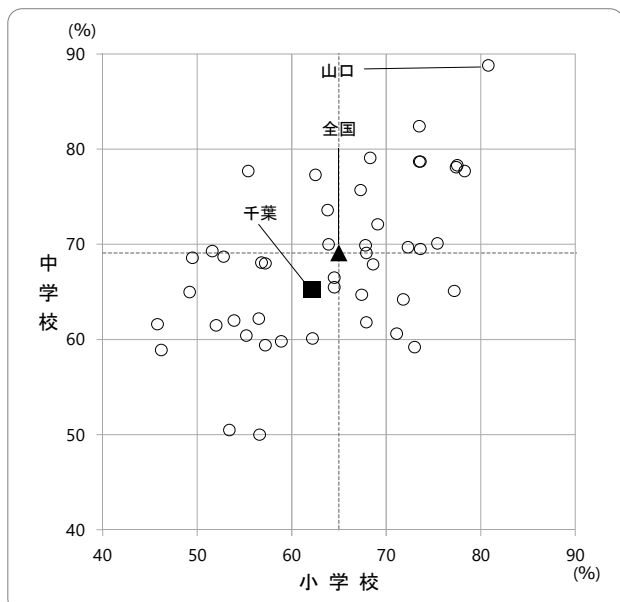


74	算数・数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか
----	-------------------------------------

【平成28年度調査結果】



【散布図】



補充的な学習の指導を行った割合は、小学校は全国と同程度であり、中学校はやや低く全国の中でも下位に位置している。発展的な学習の指導を行った割合は、小中学校ともに全国と比べてやや低い。小中学校ともに、発展的な学習の指導を行った割合よりも補充的な学習の指導を行った割合の方が高い。

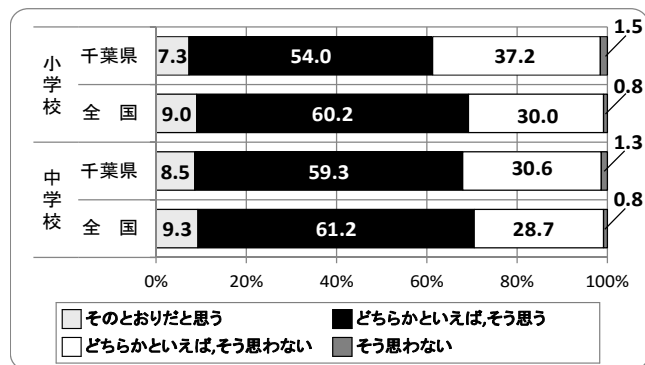
② 学力向上

ア 個に応じた指導

質問番号	質 問 事 項		小学校(肯定的回答)		中学校(肯定的回答)	
			千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
14	14	児童生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	90.8	-2.6	90.4	-1.0
15	15	児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	87.3	-3.2	95.4	0.9
17	17	児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	68.6	-6.0	73.1	-0.1
18	18	児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	81.5	-4.3	86.6	-1.7
19	19	児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	61.3	-7.9	67.8	-2.7
20	20	児童生徒は、自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができていると思いますか(新規)	87.8	-3.1	86.8	-0.4
21	21	児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか(新規)	58.7	-2.5	58.8	-0.9

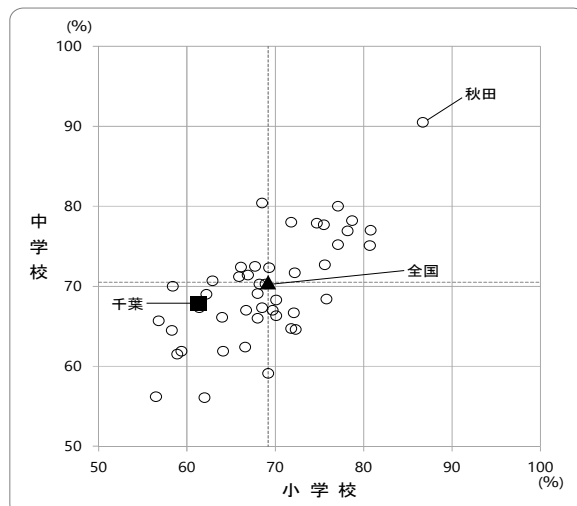
19	児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか
----	---

【平成28年度調査結果】



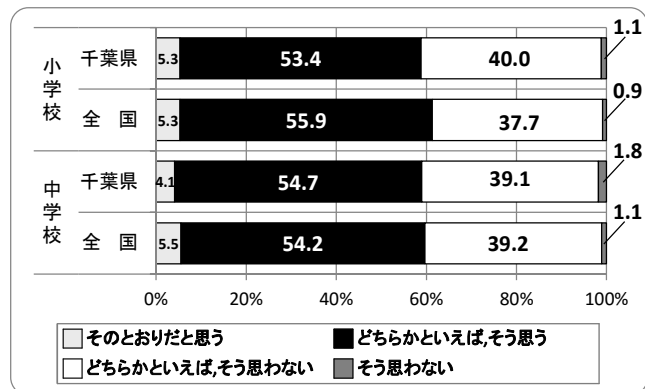
肯定的回答の割合は、小学校は全国と比べて低く、中学校もやや低い。小学校は、全国の中でも下位に位置している。

【散布図】



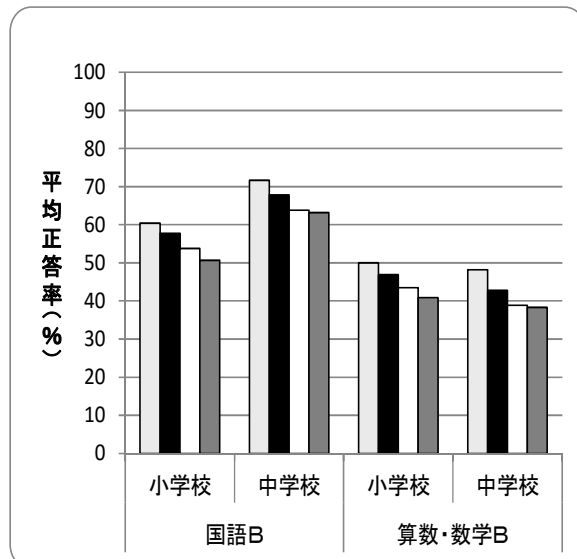
21	児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか(新規)
----	---

【平成28年度調査結果】



肯定的回答の割合は、小中学校ともに、全国と比べてやや低い。肯定的な回答をした学校の児童生徒ほど、正答率が高い。

【回答結果と正答率の関連】



イ 学力向上に向けた取組・指導方法

質問番号	小 中	質 問 事 項	小学校(肯定的回答)			中学校(肯定的回答)		
			千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
24	24	前年度に、学力向上や学習の定着等を目的として、図書館資料を活用した授業を計画的に行いましたか	97.1	-0.6		92.5	3.7	
25	25	前年度に、学力向上や学習の定着等を目的として、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	40.5	-19.7	▼	83.2	1.7	
26	26	前年度に、学力向上や学習の定着等を目的として、土曜日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	3.9	-5.4	▼	7.5	-7.9	▼
27	27	前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか(実施した日数の累計)	41.1	-23.1	▼	79.6	0.0	
35	35	前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか(新規)	86.9	-3.2		89.7	1.1	
36	36	前年度までに、授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか	98.5	-0.3		98.4	0.6	
37	37	前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	93.1	-1.8		92.2	-0.8	
38	38	前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか	91.9	-0.9		87.5	-1.4	
39	39	前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	94.9	0.1		96.1	2.8	
40	40	前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか	97.7	0.0		96.6	0.7	
41	41	前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導しましたか	98.0	1.6		94.8	5.9	△
42	42	前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか	95.7	-0.8		93.0	0.1	
43	43	前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか	82.5	-1.2		78.8	-4.2	
44	44	前年度までに、児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	79.9	-0.2		73.8	1.2	
45	45	前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	94.0	2.1		87.8	5.6	△
46	46	前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	94.1	3.6		87.8	3.0	
47	47	前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	92.9	-1.0		91.9	0.6	
48	48	前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	70.9	-3.7		98.5	1.4	
49	49	前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	90.2	-0.3		85.2	-0.1	
50	50	前年度までに、道徳の時間において、児童(生徒)自らが考え、話し合う指導をしましたか(新規)	88.1	-2.4		87.8	-1.0	
51	51	前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか	94.9	-1.7		98.7	0.8	
52	52	前年度までに、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会などにおいて、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	75.2	-2.9		66.6	-4.1	
53	53	前年度までに、学校生活の中で、児童(生徒)一人一人のよい点や可能性を見付け、児童(生徒)に伝えるなど積極的に評価しましたか	98.7	0.3		98.5	1.3	
54	54	前年度までに、国語や算数(数学)において、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作等の多様な活動に取り組ませることにより、ペーパーテストの結果に留まらない、多面的な評価を行いましたか(新規)	92.7	1.3		90.6	3.7	
55	55	前年度までに、国語や算数(数学)において、一人一人の学びの多様性に応じて、学習の課程における形成的な評価を行い、児童(生徒)の資質・能力がどのように伸びているかを、児童(生徒)自身が把握できるように評価を行いましたか(新規)	74.0	-2.1		73.3	-0.1	

※24の「肯定的回答」とは、「週に1回」、「月に数回」、「学期に数回」、「年に数回」行ったと回答した割合の合計である。

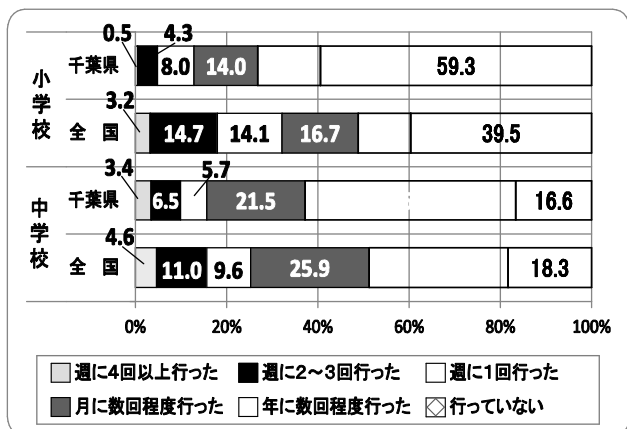
※25～27の「肯定的回答」とは、「行った」と回答した割合の合計である。

「授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導する」は、全国と比べて、小学校はやや高く、中学校は高い。また、「本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くように指導する」の肯定的回答の割合は、小中ともに85%を超えており、中学校は全国と比べて高い。

25

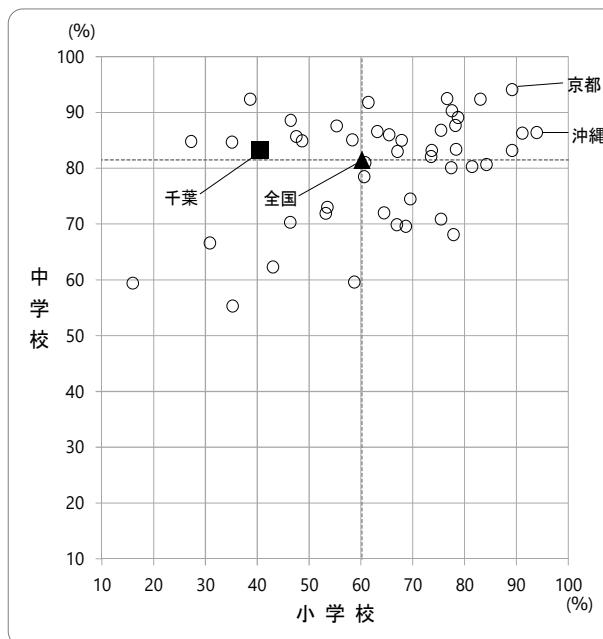
前年度までに、学力向上や学習の定着等を目的とし、放課後を利用した補足的な学習サポートを実施しましたか

【平成28年度調査結果】



肯定的回答の割合は、中学校は、80%を超えているが、小学校は40.5%と著しく低い。全国の中でも下位に位置している。

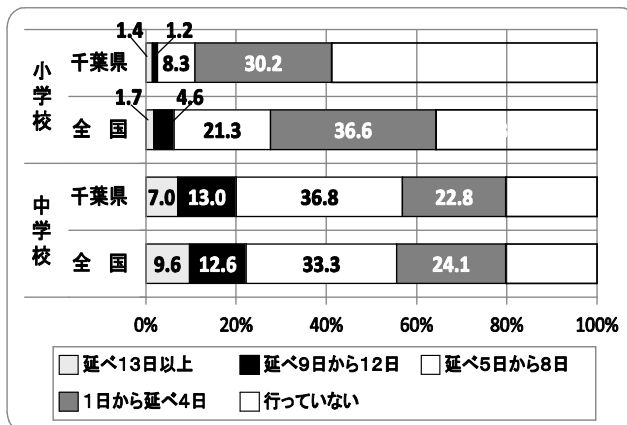
【散布図】



27

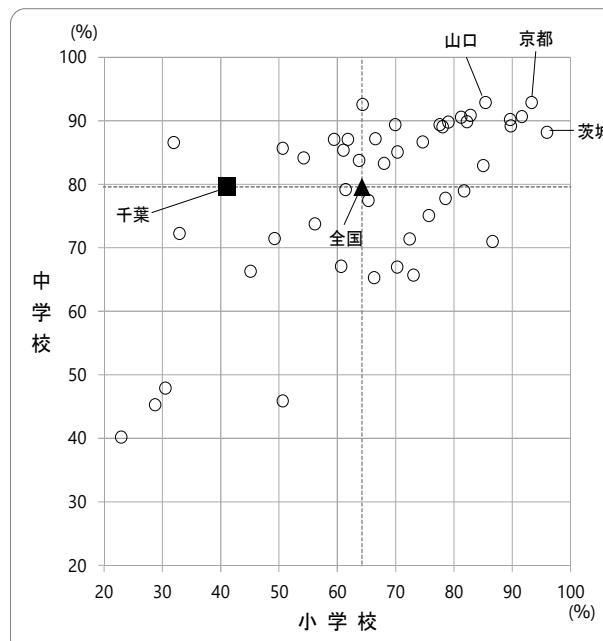
前年度に、長期休業日を利用した補足的な学習サポートを実施しましたか（実施した日数の累計）

【平成28年度調査結果】



肯定的回答の割合は、小学校は、全国と比べ著しく低く、全国の中でも下位に位置している。中学校は、全国と比べて同程度である。

【散布図】

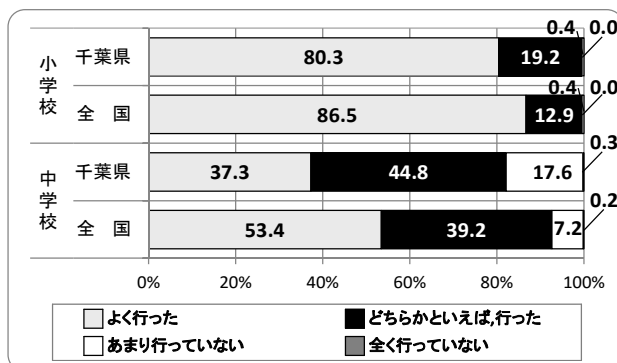


ウ 家庭学習

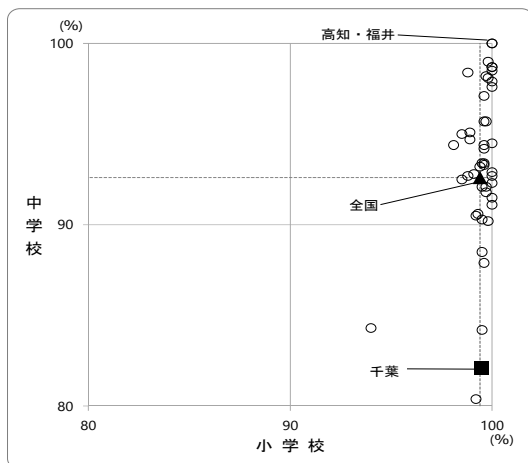
質問番号	質問事項	小学校(肯定的回答)		中学校(肯定的回答)	
小	中	千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
92	90	99.5	0.1	82.1	-10.5 ▼
93	91	98.1	0.0	91.2	-3.3
94	92	99.5	-0.1	86.3	-8.5 ▼
95	93	98.0	-0.3	89.6	-5.3 ▼
96	94	95.3	-2.0	84.7	-2.8
97	95	81.7	-7.1 ▼	74.8	-7.3 ▼
98	96	76.9	-5.2 ▼	63.5	-5.3 ▼
99	97	85.1	-6.8 ▼	83.4	-4.4
100	98	90.7	-2.5	83.9	-3.5

小 92 中 90	前年度に、国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか
--------------	----------------------------------

【平成28年度調査結果】

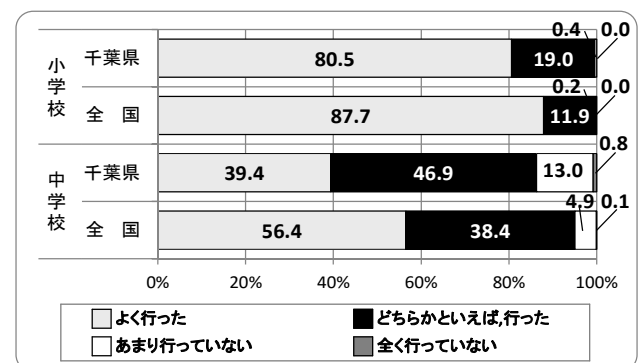


【散布図】

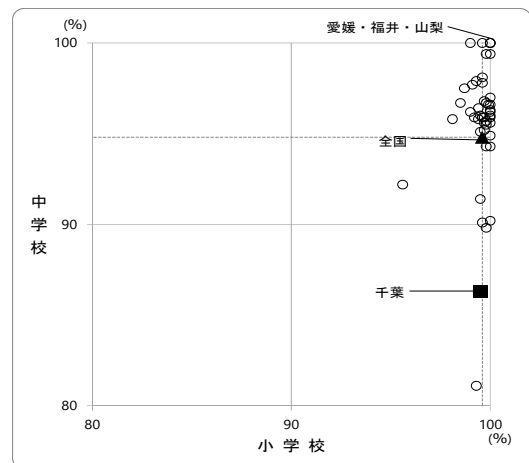


小 94 中 92	前年度までに、算数・数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか
--------------	---------------------------------------

【平成28年度調査結果】



【散布図】



肯定的回答の割合は、全国と比べ小学校は同程度で、中学校は著しく低い。また、中学校は「課題(宿題)を与える」では、全国との差が、国語が10.5ポイント、数学が8.5ポイントであり、全国の中でも下位に位置している。

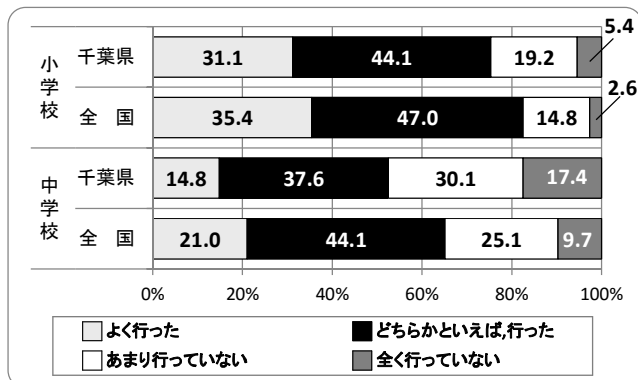
③ 学校経営

ア 地域の人材・施設の活用

質問番号	質問事項	小学校(肯定的回答)			中学校(肯定的回答)		
小	中	千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
84	83	前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	75.2	-7.2 ▼	52.4	-12.7 ▼	
85	84	前年度までに、ボランティア等による授業サポート(補助)を行いましたか	47.6	-0.5	24.3	-5.5 ▼	
86	85	前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	50.4	4.2	17.9	-2.5	
88	86	職場見学や職場体験活動を行っていますか	70.6	25.5 △	96.6	-2.2	
89	87	P T Aや地域の人が学校の諸活動(学校の美化など)にボランティアとして参加してくれますか	98.1	0.4	98.4	2.8	
90	88	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	91.3	4.4	85.3	11.2 △	
91	89	保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	97.4	0.6	93.0	2.0	

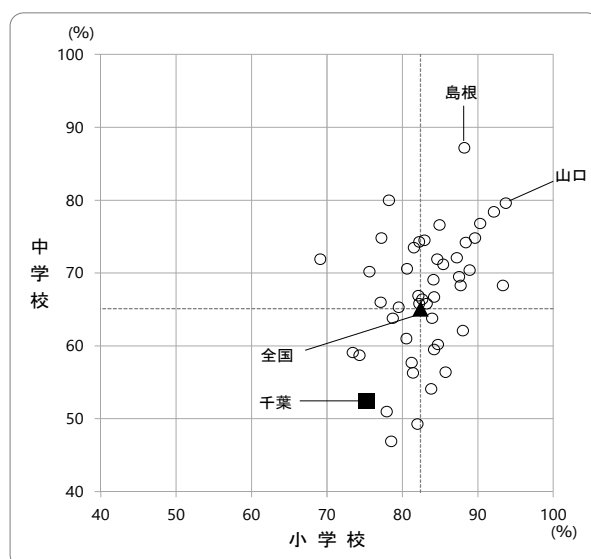
小 84/中 83 前年度までに、地域人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか

【平成28年度調査結果】



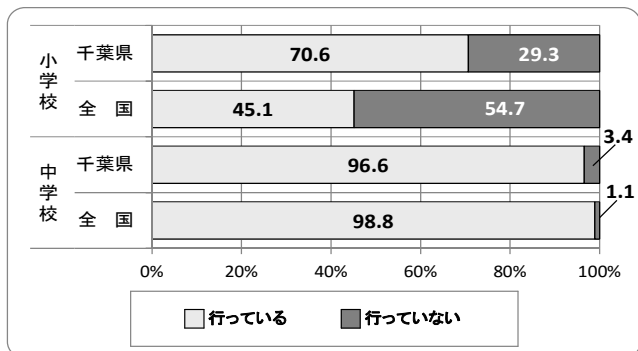
肯定的回答の割合は、小学校は全国と比べて低く、中学校は著しく低い。小中学校ともに、全国の中でも下位に位置している。

【散布図】

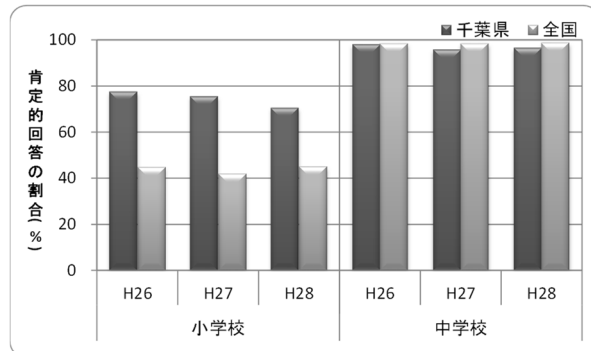


小 88/中 86 職場見学や職場体験活動を行っていますか

【平成28年度調査結果】



【経年変化】



肯定的回答の割合は、小学校は全国と比べて著しく高く、中学校は全国よりやや低い。小学校は、全国平均を大きく上回る状況が続いている。

イ 教員研修・教職員の取組

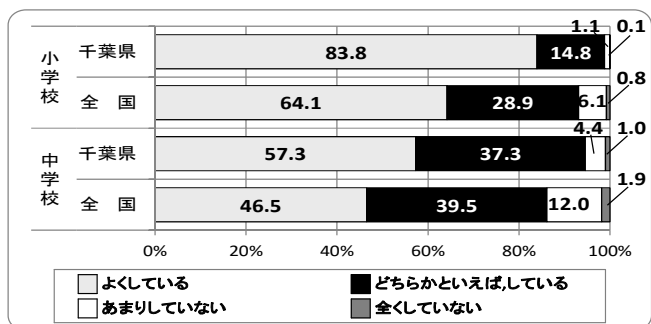
質問番号 小 中			質 問 事 項	小学校(肯定的回答)			中学校(肯定的回答)		
				千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
101	99		校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか(新規)	99.8	0.6		97.4	-0.3	
102	100		学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	98.6	5.6	△	94.6	8.6	△
103	101		都道府県や市町村の指導主事や大学教員等の専門家が、校内研修の指導のために定期的に来校していますか(新規)	80.0	7.2	△	62.5	0.3	
104	102		模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	91.7	-1.1		78.7	-5.5	▼
105	103		教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	95.8	-0.4		91.4	-1.5	
106			(小学校において) 個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか(新規)	86.6	3.6				
		104	(中学校において) 教員は、校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか(新規)				78.5	0.7	
107	105		児童(生徒) 自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか(新規)	69.2	-3.7		54.4	-9.2	▼
108	106		コンピュータ等の情報通信技術を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習(協働学習)や課題発見・解決型の学習指導を学ぶ校内研修を行っていますか(新規)	47.7	-2.3		31.8	-9.0	▼
109	107		授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか	64.4	-6.5	▼	35.2	-13.6	▼
110	108		教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	97.3	1.4		92.8	0.9	
111	109		学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか	94.9	-0.4		97.2	3.6	
112	110		学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	87.9	-2.9		73.1	-8.4	▼
113	111		言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	90.8	-0.9		84.4	-3.9	
114	112		学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか	97.7	-0.9		96.9	-1.0	
115	113		学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	96.9	-1.0		95.6	-0.8	
116	114		校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	95.6	1.4		86.5	3.9	

※109(小)、107(中)の「肯定的回答の割合」とは、「年間7回以上実施した」と回答した割合である。

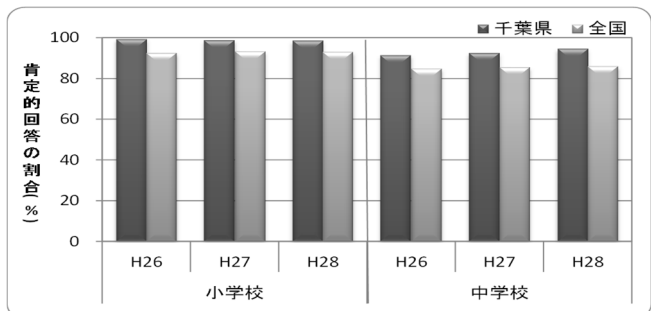
※116(小)、114(中)の「肯定的回答の割合」とは、「ほぼ毎日」、「週に2～3日程度」と回答した割合の合計である。

小102 中100	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか
--------------	----------------------------------

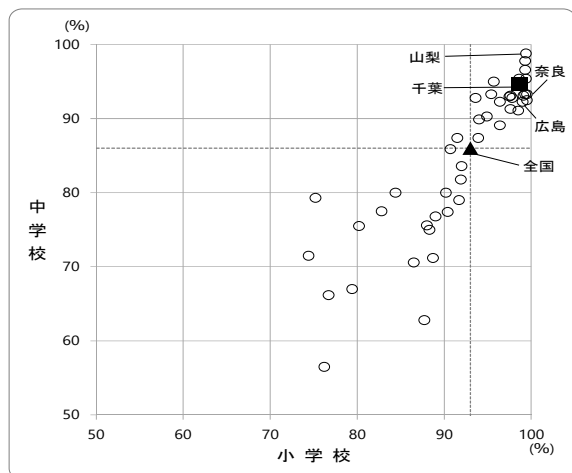
【平成28年度調査結果】



【経年変化】



【散布図】

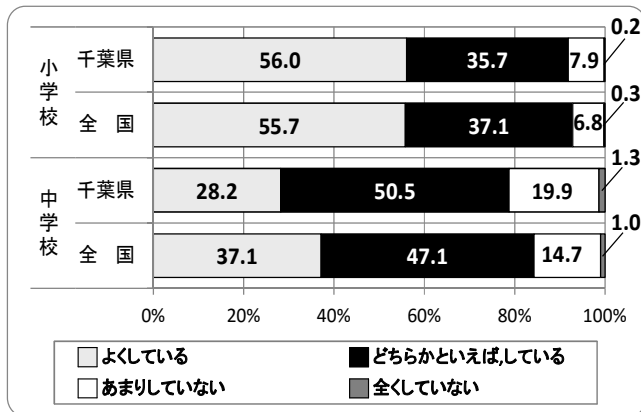


肯定的回答の割合は、小中学校ともに全国と比べて高く、全国を上回る状況が続いている。小中学校ともに、全国の中でも上位に位置している。

小 104
中 102

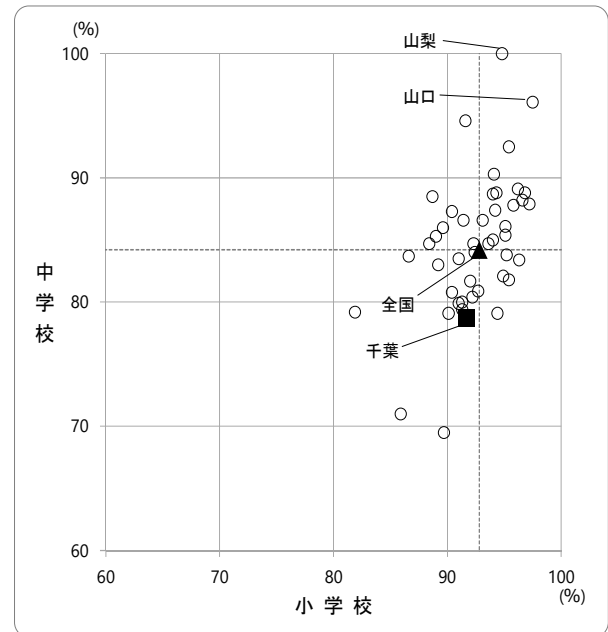
模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか

【平成28年度調査結果】



肯定的回答の割合は、小中学校ともに全国と比べて低い。特に中学校は、「よくしている」と回答した学校が、28.2%であり、全国の中でも下位に位置している。

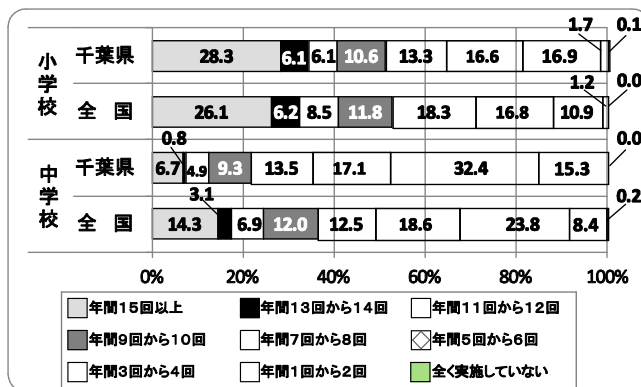
【散布図】



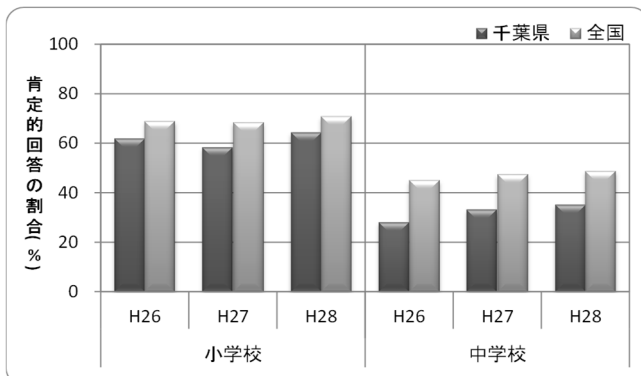
小109
中107

授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか

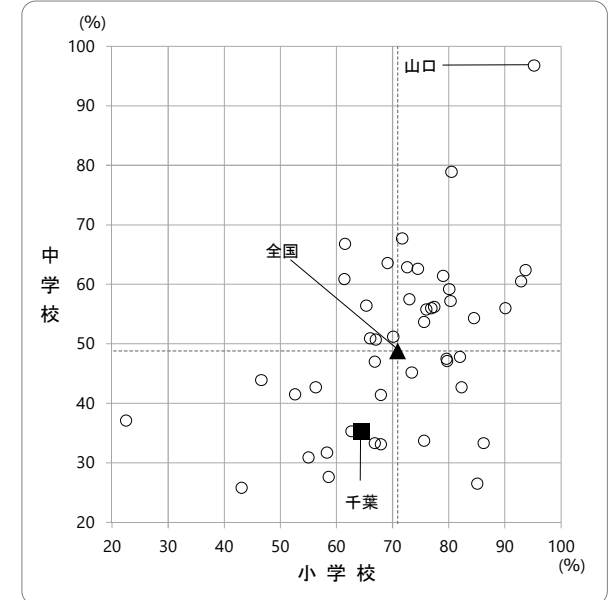
【平成28年度調査結果】



【経年変化】



【散布図】



「年間7回以上実施した」と回答した割合は、小学校は全国と比べて低く、中学校は著しく低い状況が続いている。また、全国の中でも下位に位置している。

児童生徒の家庭学習の充実に向けて

全国学力・学習状況調査結果チャート（８，９ページ参照）に見られるとおり，児童生徒質問紙における「学習習慣」の領域と学校質問紙における「家庭学習」の領域については，小中学校ともに全国を下回っている。10年間の推移を見ると，改善傾向が見られる項目もあるが，継続した課題であることから，調査結果に基づいて検証し，児童生徒の学習習慣の確立や，家庭学習を充実させるための学校の取組について，一層の改善を図っていく必要がある。

（１）児童生徒質問紙調査から（平成２８年度調査結果については，６２，６３ページ参照）

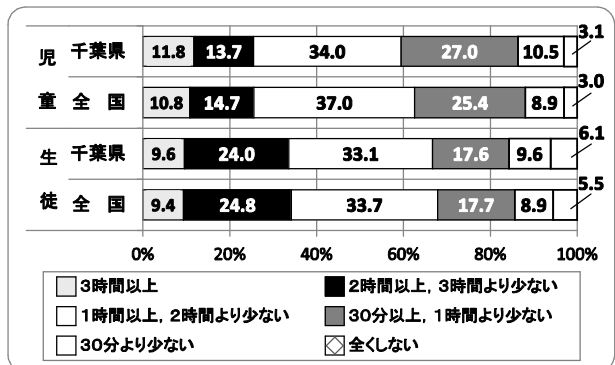
家庭における学習習慣の定着が不十分であることがわかる。児童生徒ともに，宿題をする割合は高いが，計画的な勉強や予習・復習をする割合は低く，学習態度が受動的であることがうかがえる。宿題とともに予習・復習のバランスのとれた，自主的・計画的な学習態度を育成する必要がある。

学習時間は全国に比べて少ない状況である。長時間勉強する児童生徒の割合は全国と比べてやや上回るが，ほとんどしない割合もやや上回る。また，ゲームや携帯電話等を長時間利用する児童生徒が多く，学習時間の確保に影響を及ぼしていることが考えられる。起床・就寝時刻や携帯電話等の使用法も含め，家庭における時間の有効な活用について工夫・改善を図る必要がある。

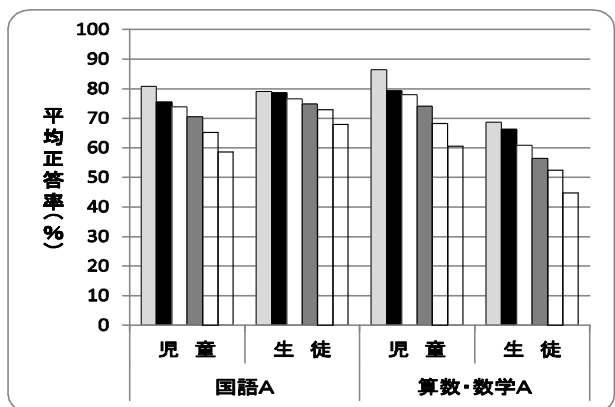
◆学習時間について

14	学校の授業時間以外に，普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）
----	---

【平成２８年度調査結果】

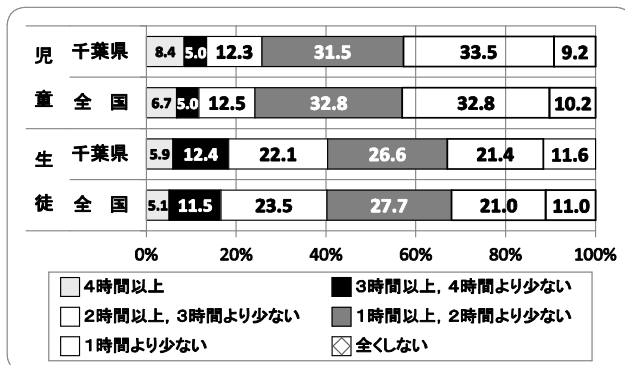


【回答結果と正答率の関連】

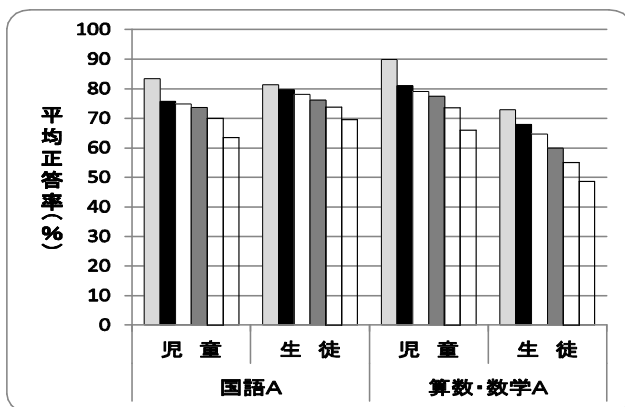


15	土曜日や日曜日など学校が休みの日に，１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）
----	--

【平成２８年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】

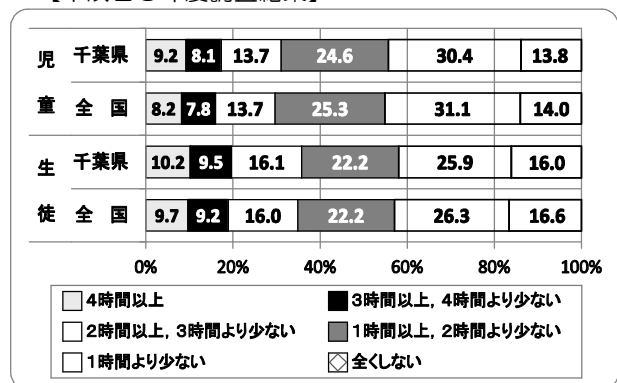


「学校の授業時間以外に，１時間以上勉強する」割合について，「普段（月～金曜日）」と「土曜日や日曜日など学校が休みの日」とを比べると，児童は59.5%，57.2%，生徒は66.7%，67.0%で，児童は休みの日が普段を下回り，生徒は同程度である。普段「全くしない」割合について，児童と生徒とを比べると，生徒が児童の約２倍になっている。また，休みの日に「全くしない」割合は，児童生徒ともに約１割となっている。

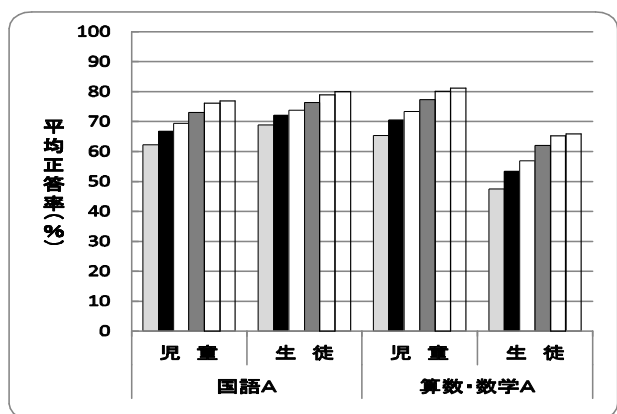
◆生活習慣について

12	普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，テレビゲーム（コンピュータゲーム，携帯式のゲーム，携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか
----	---

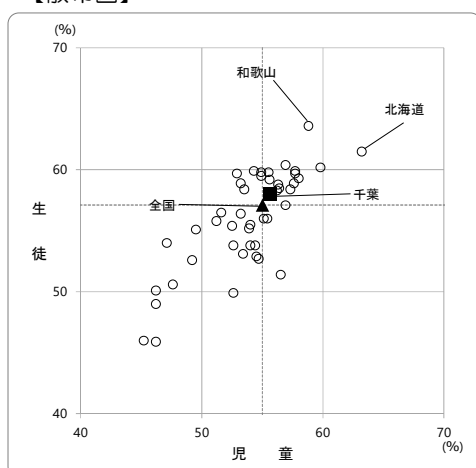
【平成28年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】

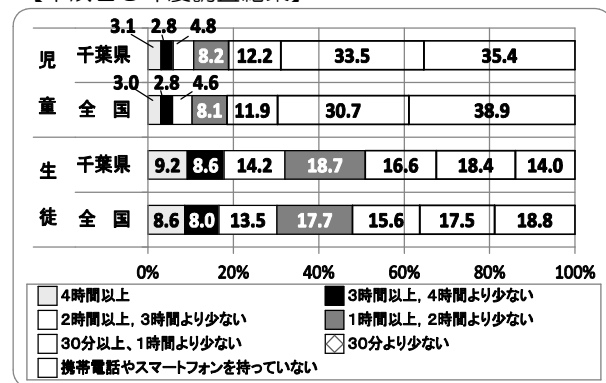


【散布図】

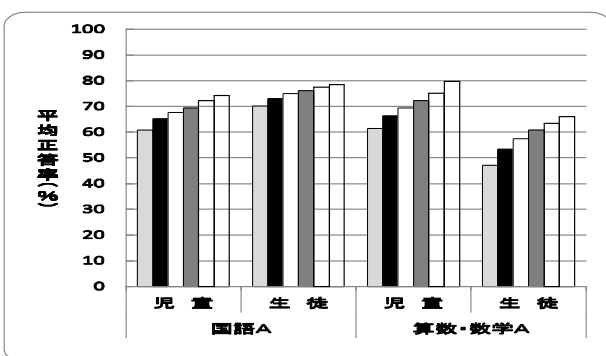


13	普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）
----	---

【平成28年度調査結果】

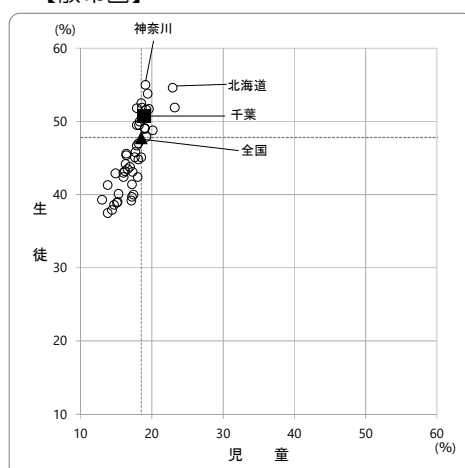


【回答結果と正答率の関連】



※「携帯電話やスマートフォンを持っていない」と回答した割合を除いて作成している。

【散布図】



「1時間以上テレビゲームをする」割合は，児童は全国と同程度であり，生徒は全国と比べてやや高く，全国の中でも上位に位置している。「1時間以上携帯電話やスマートフォンを使用する」割合についても同様の状況である。携帯電話やスマートフォンについては，児童生徒ともに全国よりも所持率が高く，生徒の使用時間は全国よりも長い傾向が見られる。また全国と同様に，児童よりも生徒の所持率が高く，使用時間が長くなっている状況がうかがえる。テレビゲームをする時間や携帯電話等を使用する時間が長い児童生徒ほど，正答率が低い傾向にある。

(2) 学校質問紙調査から

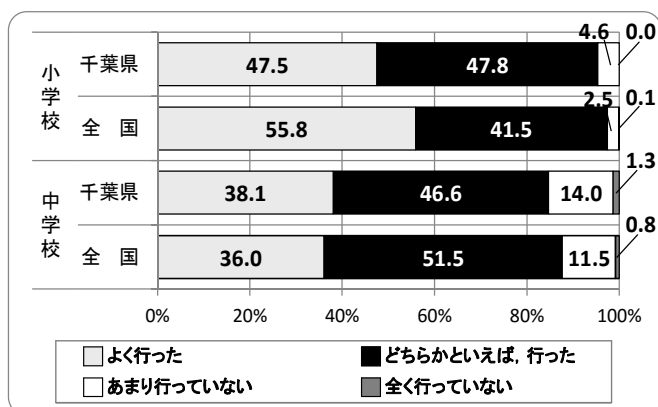
児童生徒が家庭で「宿題」をしている割合が高いという実態を踏まえると、宿題の与え方、内容や質についての工夫改善は重要課題である。「宿題の与え方における教職員の共通理解」が全国を下回る状況が続いていることから、宿題については学級や教科担任に任されている現状が推測され、学校全体としての基本方針に基づいた校内体制を整えることが喫緊の課題と言える。宿題の内容については、知識・理解に関わるものだけでなく、「調べたり文章を書いたりする」といった児童生徒の思考や表現活動を促すものを取り入れることも大切となってくる。

児童生徒の自主的な学習態度を育成するという観点から、学校としての働きかけについてより一層の改善を図っていく必要がある。「家庭学習を促すような働きかけ」を行った割合は、小中学校ともに増加傾向を示しており、さらに働きかけの内容を工夫しながらそれを継続することが重要である。また、「学習の仕方」を身に付けることは、能動的に学習を進める上での大切な条件である。児童生徒に「家庭での学習方法を具体的に教える」ことは、それに直結する重要なことからであり、学校としての積極的な取組が必要である。

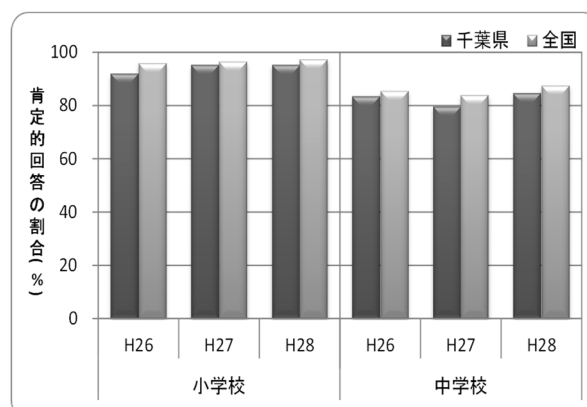
◆家庭学習に関わる学校の取組について

小 96 中 94	前年度までに、保護者に対して児童・生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか（国語／算数・数学共通）
--------------	---

【平成28年度調査結果】

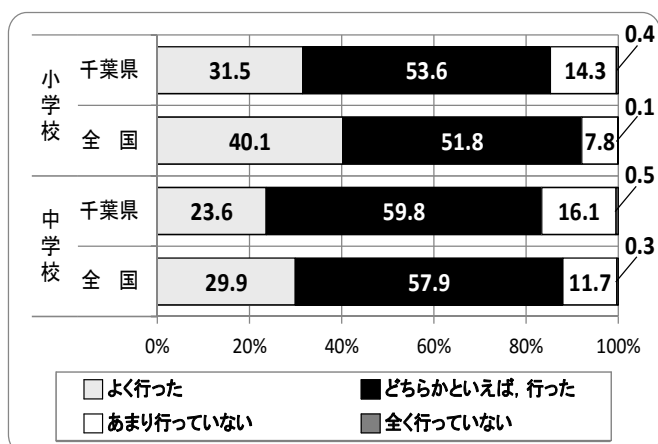


【経年変化】

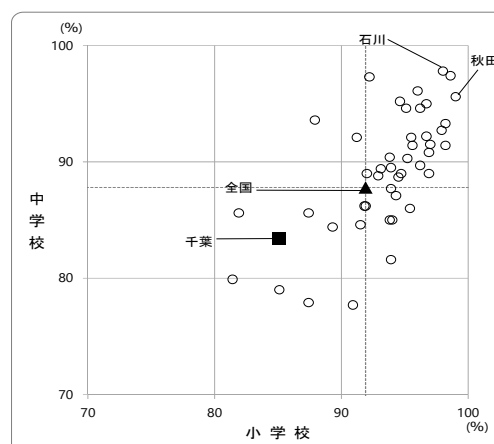


小 99 中 97	前年度までに、家庭学習の取組として、児童・生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（国語／算数・数学共通）
--------------	--

【平成28年度調査結果】



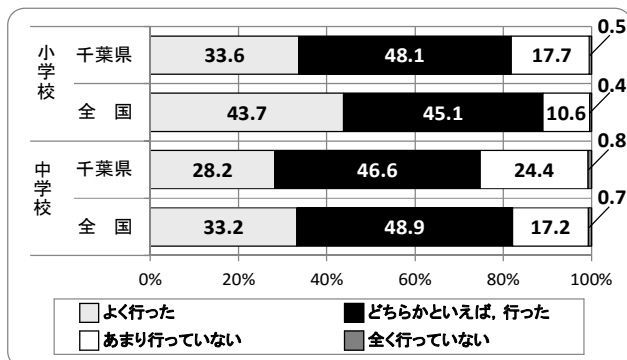
【散布図】



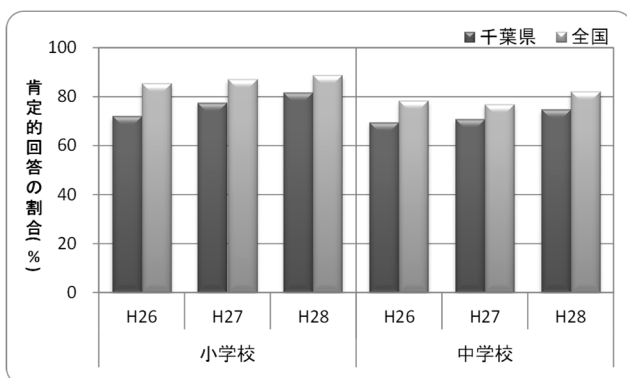
保護者に対して児童生徒の「家庭学習を促す」働きかけについて、肯定的回答の割合は、小中学校ともに全国と比べてやや低い。否定的回答の割合は、中学校は小学校の約3倍となっている。また、児童生徒に「家庭での学習方法等を具体的に挙げながら教える」ことについては、小中学校ともに全国と比べて低く、全国の中で下位に位置している。

小 97 中 95	前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／算数・数学共通）
--------------	---

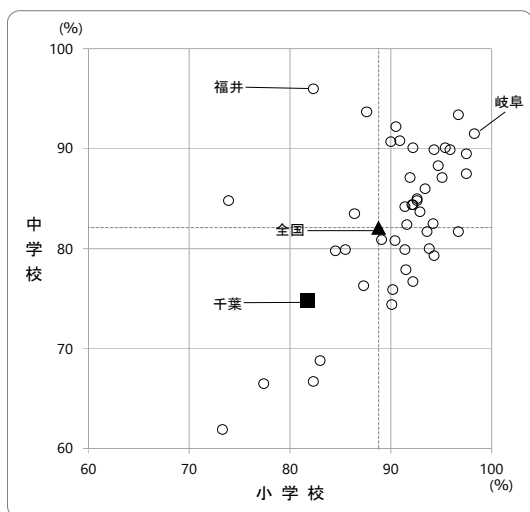
【平成28年度調査結果】



【経年変化】

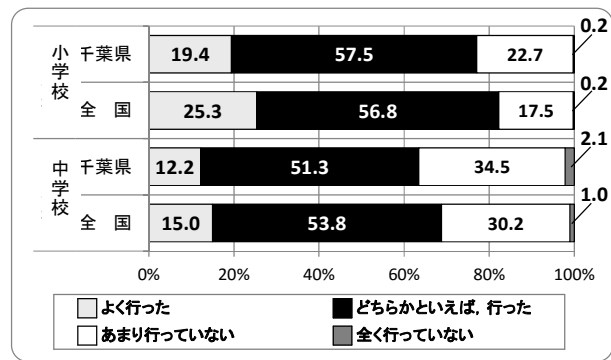


【散布図】

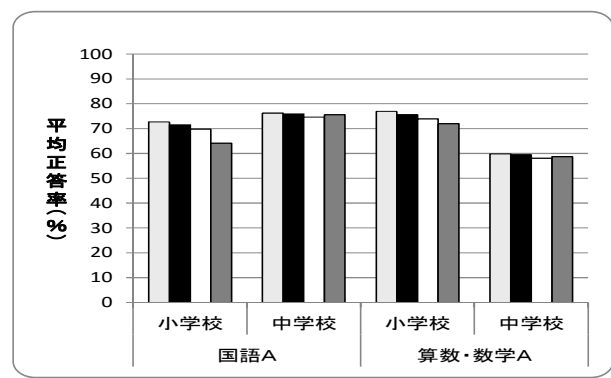


小 98 中 96	前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／算数・数学共通）
--------------	--

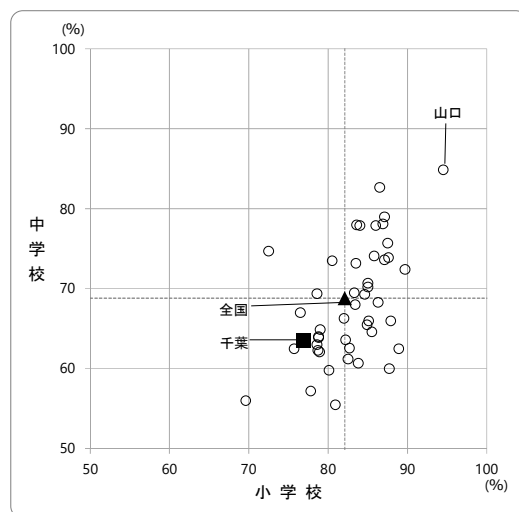
【平成28年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】 ※選択肢ごとの学校の平均正答率を示している。



【散布図】



「家庭学習について教職員の共通理解を図る」ことについて、肯定的回答の割合は、小中学校ともに、全国との差は小さくなる傾向にあるものの下回っている。特に、小学校は全国の中でも下位に位置している。

「調べたり文章を書いたりする宿題を与える」ことについて、肯定的回答の割合は、小中学校ともに、全国を下回っている。特に、小学校は全国の中でも下位に位置している。また、肯定的回答をした学校の児童ほど正答率が高い傾向が見られる。

教員研修の充実に向けて

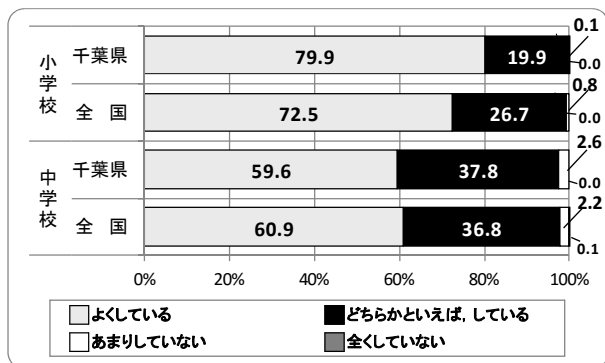
全国学力・学習状況調査結果チャート（９ページ参照）に見られるとおり，学校質問紙調査における「教員研修・教職員の取組」の領域については，小中学校ともに全国をやや下回っている。各学校で自校の課題解決や主体的・対話的で深い学びの学習の充実にむけて，自立的に研修を行う必要がある。

「教員研修」については，今年度新規項目が多かった。そのため，ここでは新規項目を中心に取り上げた。内容は，校長のリーダーシップのもとにテーマを設け，外部から専門家を招聘し，自立的に研修を行っているか，個々の教師が自らの専門性を高めるための研修を継続的にを行っているか，そして，主体的・対話的で深い学びに関する研修を行っているかなどである。

学校質問紙調査から

小 101 校長のリーダーシップのもと，研修リーダー等を校内に設け，校内研修の実施計画を整備
中 99 するなど，組織的，継続的な研修を行っていますか（新規）

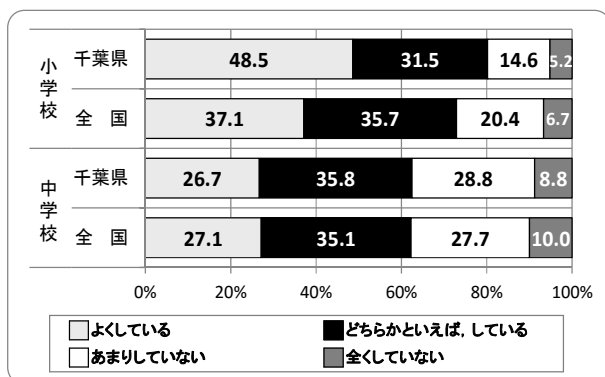
【平成２８年度調査結果】



肯定的回答をした学校の割合は，小中学校ともに全国と同程度である。

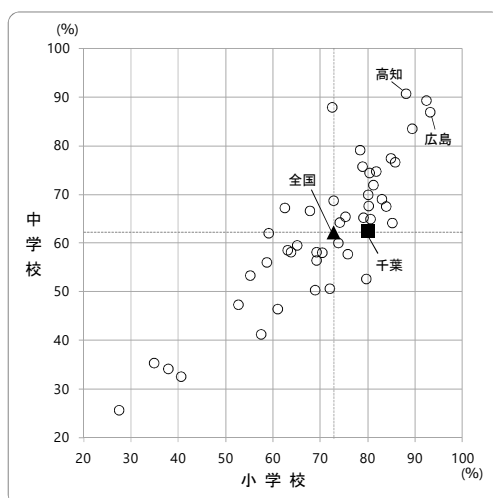
小 103 都道府県や市町村の指導主事や大学教員等の専門家が，校内研修の指導のために定期的に
中 101 来校していますか（新規）

【平成２８年度調査結果】



肯定的回答をしている学校の割合は，小学校が全国より高く，中学校は同程度である。

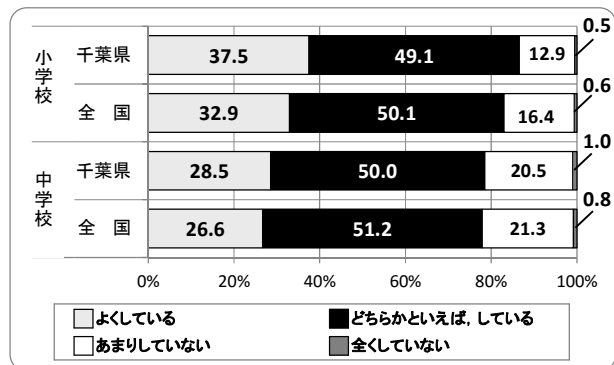
【散布図】



小 106 中 104	(小) 個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか (中) 教員は、校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか (新規)
----------------	--

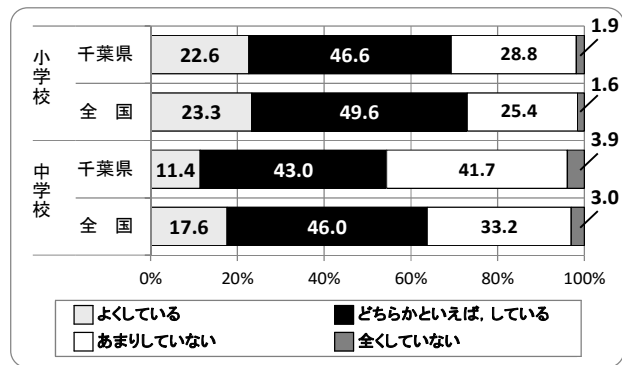
小 107 中 105	児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか (新規)
----------------	---

【平成28年度調査結果】



肯定的回答をしている学校の割合は、小学校が全国よりやや高く、中学校は同程度である。

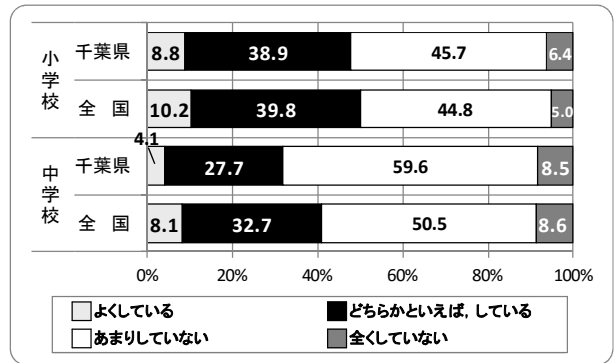
【平成28年度調査結果】



肯定的回答をしている学校の割合は、小学校が全国よりやや低く、中学校は低い。「よくしている」割合は、中学校が全国より低い。

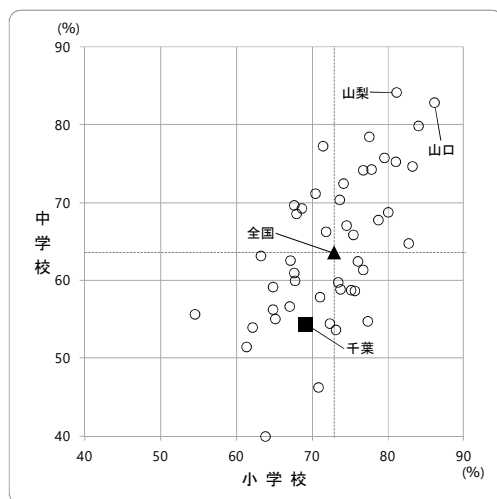
小 108 中 106	コンピュータ等の情報通信技術を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を学ぶ校内研修を行っていますか (新規)
----------------	--

【平成28年度調査結果】



肯定的回答をしている学校の割合は、小学校が全国よりやや低く、中学校は低い。

【散布図】



カリキュラム・マネジメントへの取組について

今年度新たに「カリキュラム・マネジメント」に関わる質問項目が設けられた。教育課程の編成において、学校が地域や学校の実態及び児童生徒の実態に応じて、適切な教育課程を編成することが求められている。

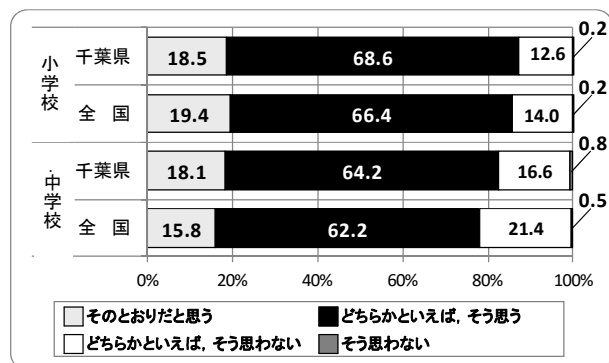
学校質問紙調査から

質問番号	小	中	質 問 事 項	児童(肯定的回答)		生徒(肯定的回答)	
				千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
30	30		指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか(新規)	87.1	1.3	82.3	4.3
31	31		教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか(新規)	84.5	-1.1	79.3	1.5
32	32		教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、指導事項の系統性が分かるように作成していますか(新規)	83.3	-1.3	84.9	-0.4
33	33		児童[生徒]の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか(新規)	85.0	-3.5	82.6	-3.7
34	34		指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか(新規)	88.4	-3.0	60.4	-10.9 ▼

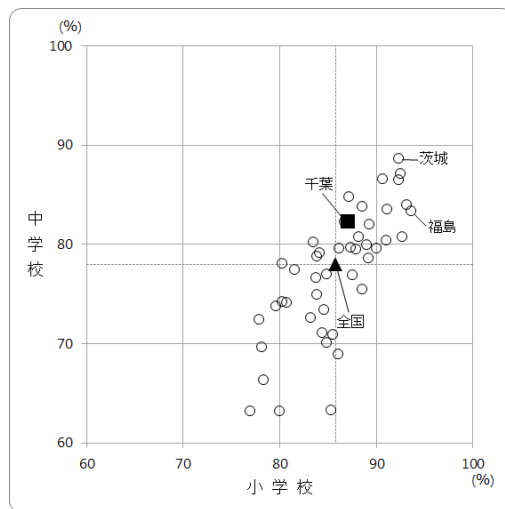
30

指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか(新規)

【平成28年度調査】



【散布図】

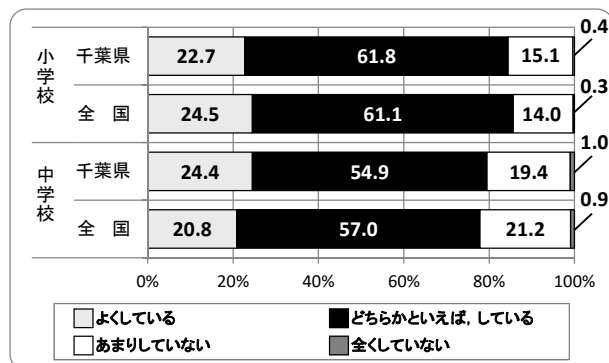


肯定的回答の割合は、小中学校ともに全国と比べやや高い。

31

教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか(新規)

【平成28年度調査】

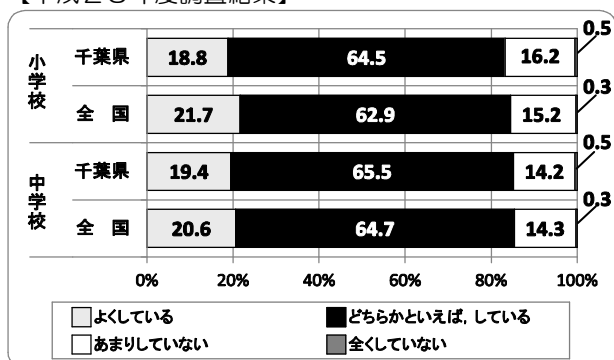


肯定的回答の割合は、小学校が全国よりやや低く、中学校はやや高い。

32

教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、指導事項の系統性が分かるように作成していますか（新規）

【平成28年度調査結果】

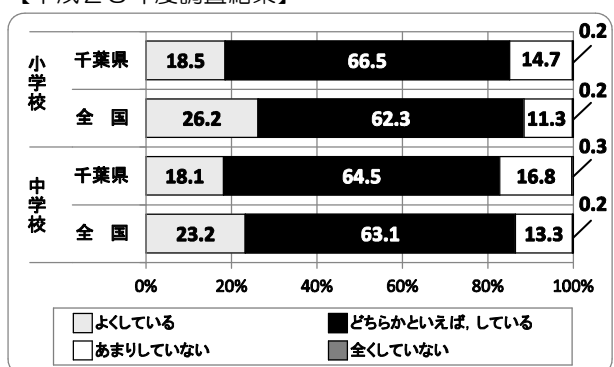


肯定的回答の割合は、小学校が全国よりやや低く、中学校は同程度である。

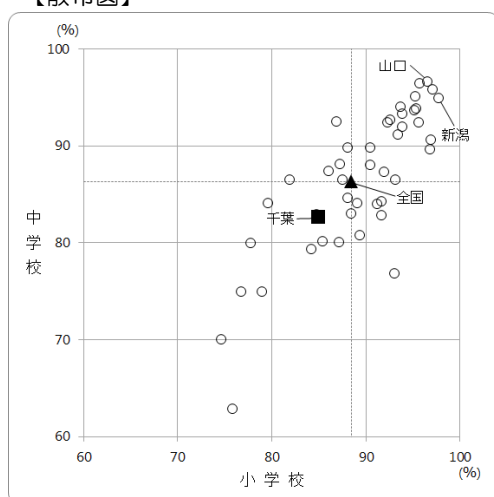
33

児童〔生徒〕の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか（新規）

【平成28年度調査結果】



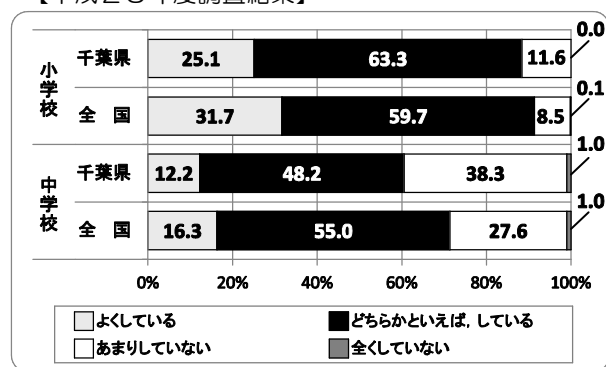
【散布図】



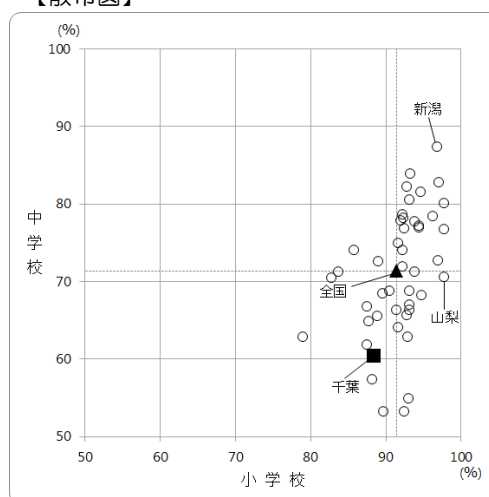
34

指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか（新規）

【平成28年度調査結果】



【散布図】



「児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している」と回答している割合は、小中学校ともに全国と比べてやや低い。また、指導計画の作成に当たっては、「教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている」と回答している割合は、小中学校ともに全国の中でも下位に位置し、小学校は全国と比べてやや低く、中学校は著しく低い。

教育課程編成において、自校の実態を各種調査等の結果に基づき、課題改善のためのPDCAサイクルを明確にした上で、学校や地域の教育資源と自校の教育内容を効果的に組み合わせることが大切である。

主体的・対話的で深い学びの充実に向けて

主体的・対話的で深い学びによく取り組んだと回答した児童生徒ほど平均正答率が高い傾向が見られた。先生から示させる課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組む学習に一定の効果があつたと見られる。

主体的・対話的で深い学びを行う際には、教育課程上で育てたい能力を明確にした上で、児童生徒に活動の意味を説明したり、形成的に評価したりするなどして、より多くの児童生徒が達成感を感じ、学習意欲を持続的に向上していけるように留意することが重要である。

(1) 児童生徒質問紙から

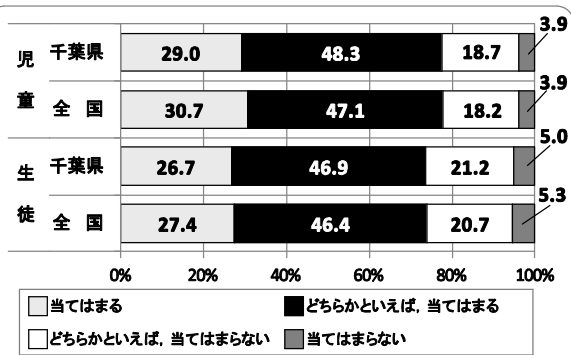
授業で行われる話し合う活動については、「課題解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習に取り組んでいた」、「話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えを伝えていた」、「自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいた」のそれぞれの質問事項に肯定的回答をしている児童生徒の割合は、全国と大きな差が見られなかった。

それぞれの質問事項で肯定的回答をしている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られることから、小中学校ともに、より多くの児童生徒が主体的・対話的で深い学びの中で達成感を得られるような授業を展開することが重要である。

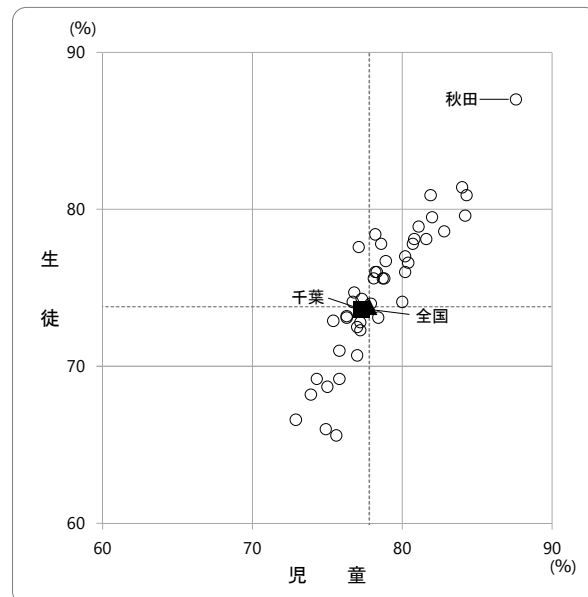
47

授業では、先生から示させる課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたとしますか（新規）

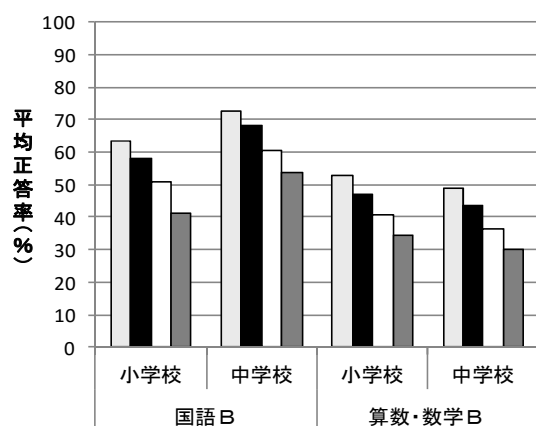
【平成28年度調査結果】



【散布図】



【回答結果と正答率の関連】



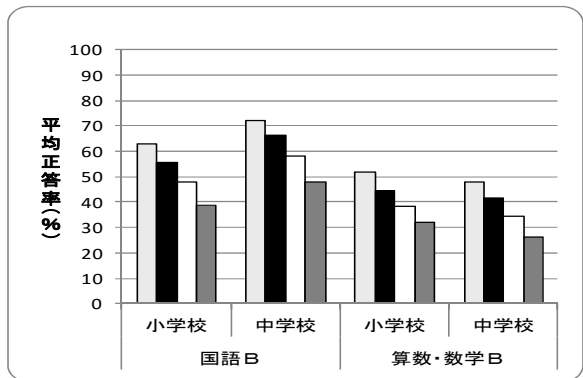
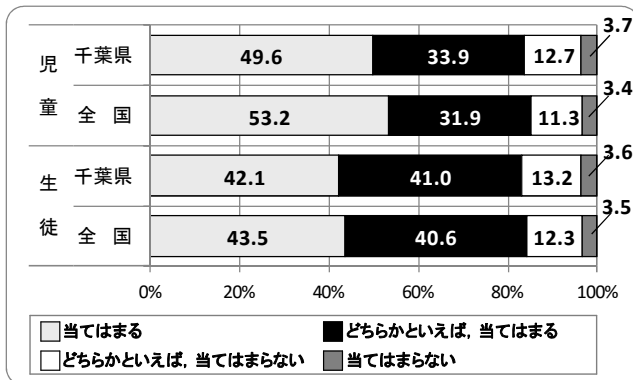
肯定的回答の割合は、児童生徒ともに、全国と同程度である。

授業において、課題に対して主体的に取り組んでいると感じている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

48 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか

【平成28年度調査結果】

【回答結果と正答率の関連】

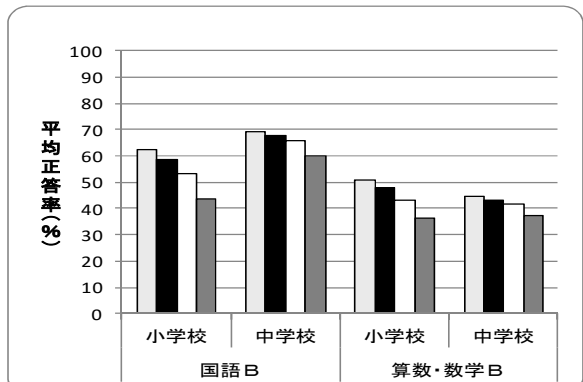
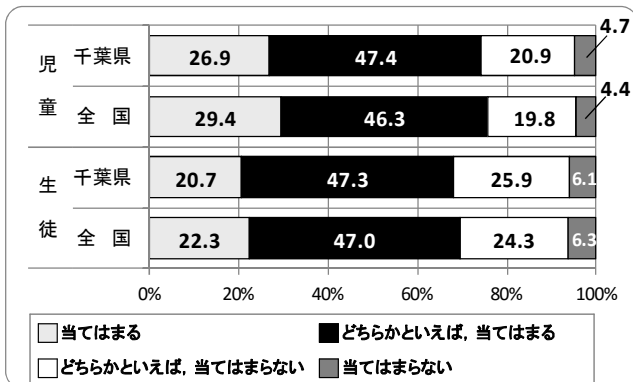


肯定的回答の割合は、児童生徒ともに全国よりやや低い。自分の考えを発表する機会が与えられていたと感じている児童生徒ほど正答率が高い傾向がある。

50 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習に取り組んでいたと思いますか

【平成28年度調査結果】

【回答結果と正答率の関連】

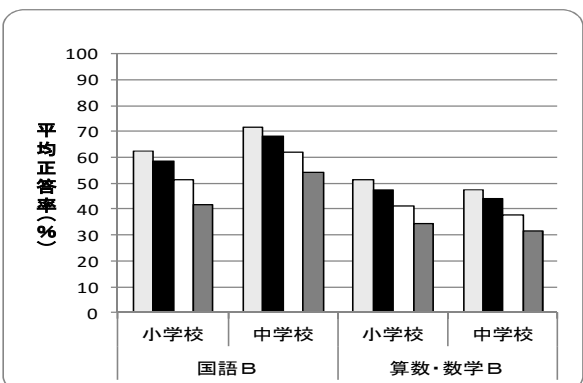
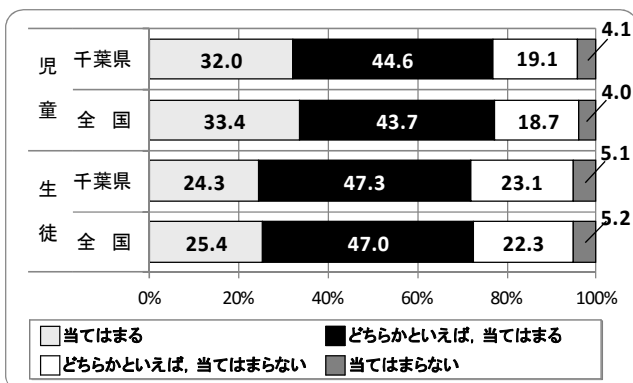


肯定的回答の割合は、児童生徒ともに全国よりやや低い。課題解決に向けて話し合いながら整理して、発表するなどの学習に取り組んでいたと感じている児童生徒ほど、正答率が高い傾向がある。

51 授業で、学級の友達と〔生徒〕の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか（新規）

【平成28年度調査結果】

【回答結果と正答率の関連】

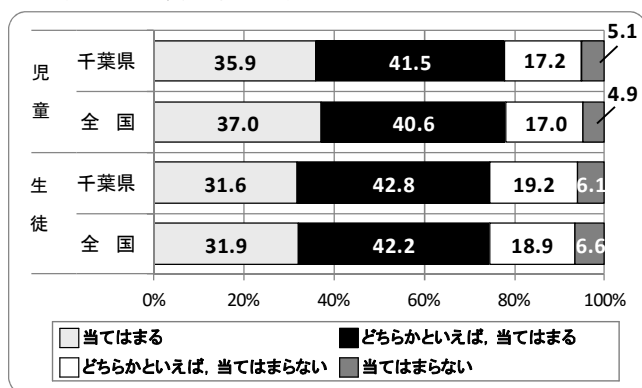


肯定的回答の割合は、児童生徒ともに全国と同程度である。話し合う内容を理解し、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えを伝えていたと感じている児童生徒ほど、正答率が高い傾向がある。

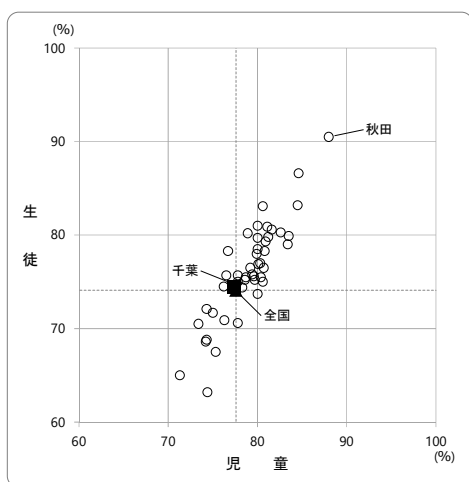
56

道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか（新規）

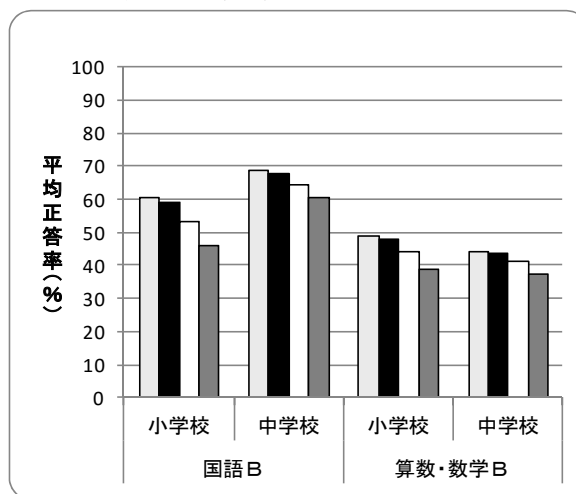
【平成28年度調査結果】



【散布図】



【回答結果と正答率の関連】



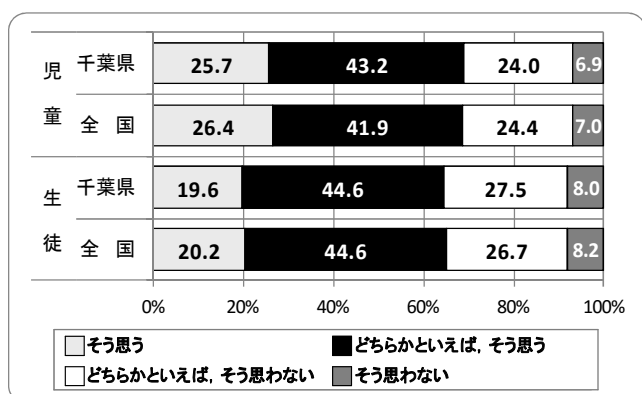
肯定的回答の割合は、児童生徒ともに全国と同程度である。

道徳の時間において、自分の考えを深めたり、話し合ったりする活動に取り組んでいると感じている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

59

学級の友達・生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

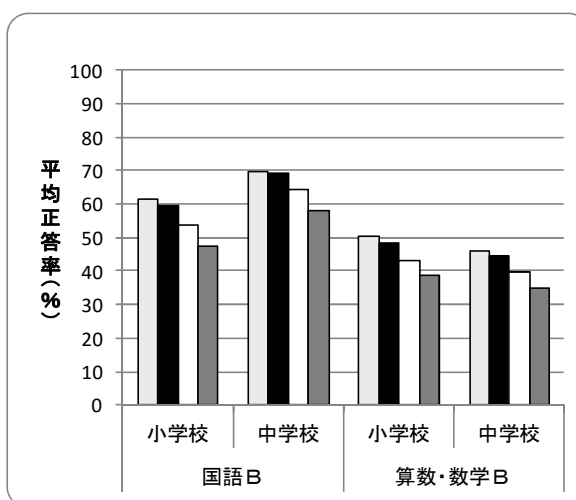
【平成28年度調査結果】



肯定的回答の割合は、児童生徒ともに全国と同程度である。

学級の友達・生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると感じている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

【回答結果と正答率の関連】

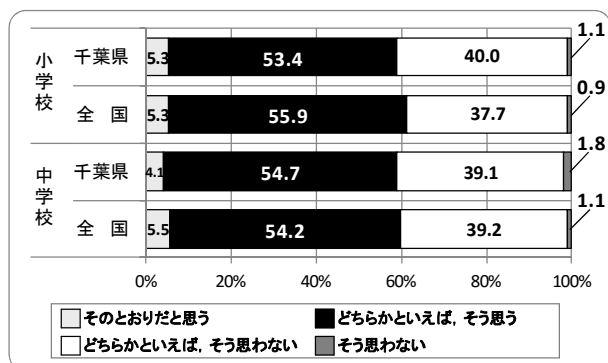


(2) 学校質問紙から

21

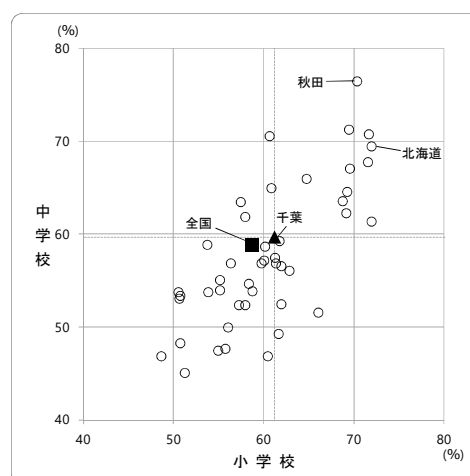
児童〔生徒〕は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができますか（新規）

【平成28年度調査結果】



肯定的回答の割合は、小学校が全国よりやや低く、中学校は同程度である。

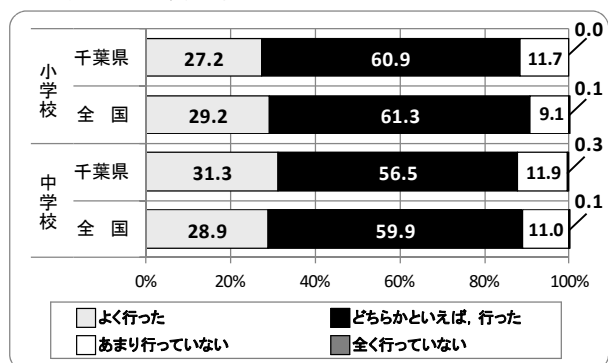
【散布図】



50

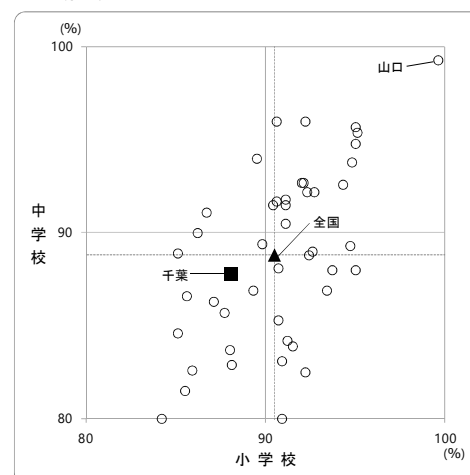
道徳の時間において、児童〔生徒〕自らが考え、話し合う指導をしましたか（新規）

【平成28年度調査】



肯定的回答の割合は、小中学校ともに全国よりやや低い。

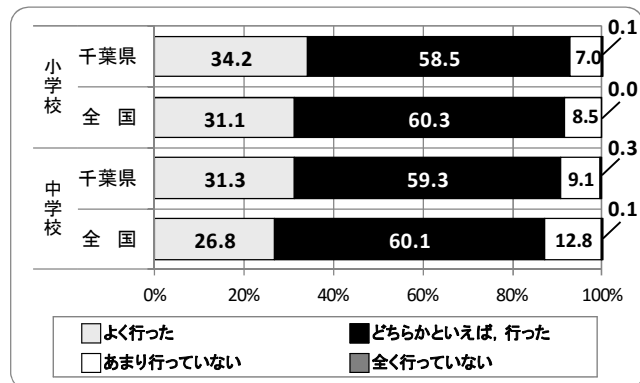
【散布図】



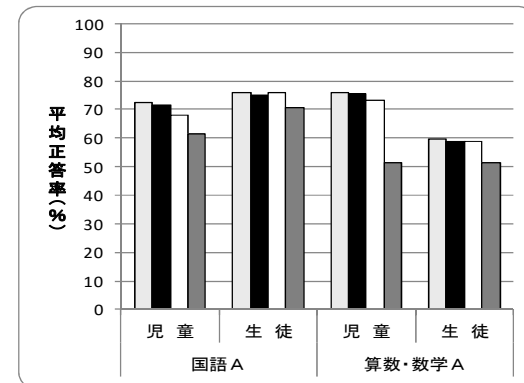
54

国語や算数〔数学〕において、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作等の多様な活動に取り組ませることにより、ペーパーテストの結果に留まらない、多面的な評価を行いましたか（新規）

【平成28年度調査結果】



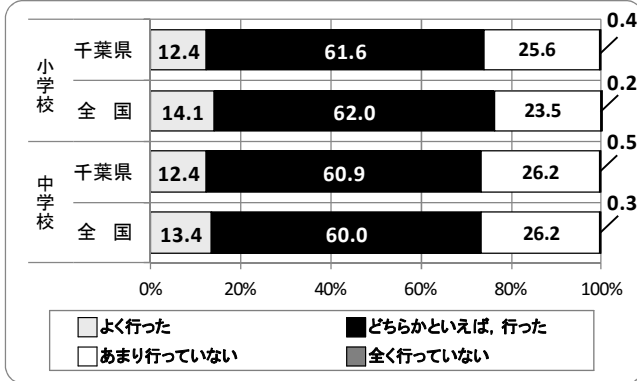
【回答結果と正答率の関連】



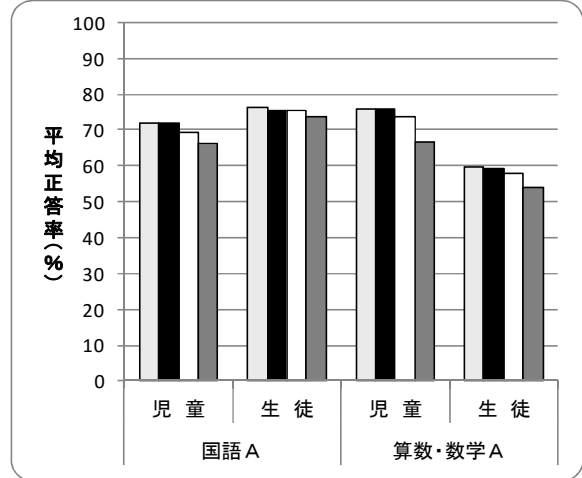
肯定的回答の割合は、小中学校ともに全国よりやや高い。「全く行っていない」と回答している学校の正答率が低い傾向にある。

55	国語や算数〔数学〕において、一人一人の学びの多様性に応じて、学習の過程における形成的な評価を行い、児童〔生徒〕の資質・能力がどのように伸びているかを、児童〔生徒〕自身が把握できるような評価を行いましたか（新規）
----	---

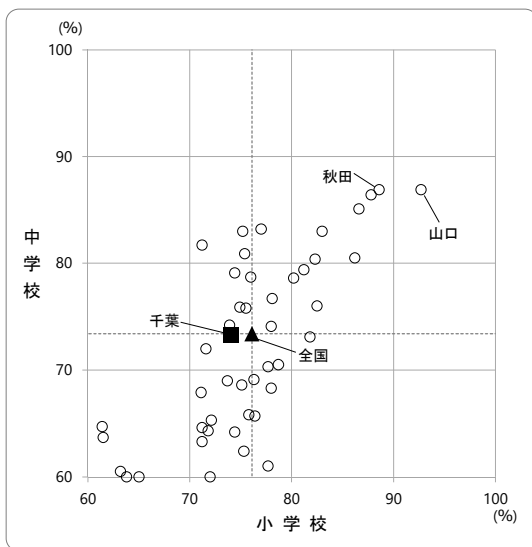
【平成28年度調査】



【回答結果と正答率の関連】



【散布図】



肯定的回答の割合は、小学校が全国よりやや低く、中学校は同程度である。
肯定的回答をしている学校ほど、正答率が高い傾向にある。

授業で、児童生徒が自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると回答している学校の割合や、道徳の時間に、児童生徒が自ら考え、話し合う指導をした学校の割合について、全国との大きな差は見られなかった。

話し合う活動や主体的・対話的で深い学びの学習、課題発見・解決型の学習指導には一定の効果がみられることから、各学校は、各教科等に意図的・計画的に配置するなど、具体的な取組を進める必要がある。その際、単に活動の場面や時間を増やすのではなく、活動の質の向上を図ることが重要である。

従来の指導方法から、主体的・対話的で深い学びへと指導方法が変化することは、評価の見直しにも繋がる。ペーパーテストの結果に留まらない、多面的で形成的な評価について、各学校で検討をしていく必要がある。

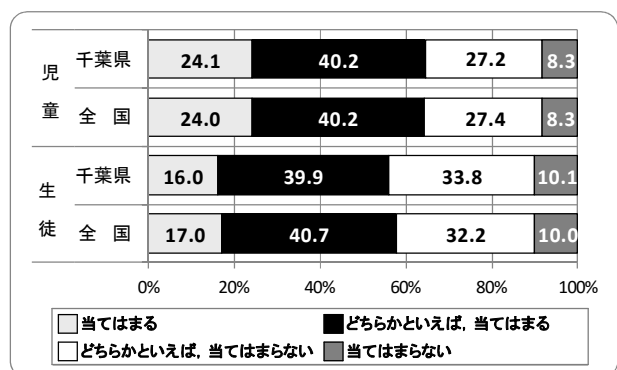
(3) 児童生徒質問紙と学校質問紙との関係

授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表する活動について、児童生徒と学校との間では同様の認識が見られた。児童生徒質問紙では、肯定的回答をしている児童生徒の割合は、それぞれ 64.3%、55.9%である。また、学校質問紙では、肯定的回答をしている小中学校は、それぞれ、58.7%、58.8%である。このことから学校は、否定的回答をしている約4割の児童生徒が、自分の考えがうまく伝わるよう、話の組立てなどを工夫して発表できるように指導していくことが大切である。

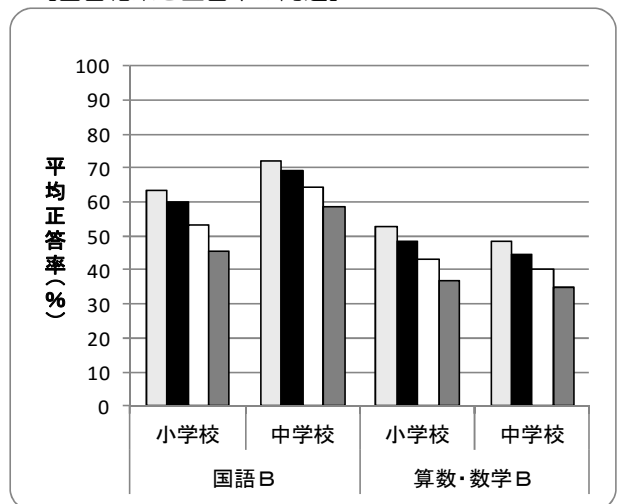
■児童生徒質問紙

52	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いましたか（新規）
----	---

【平成28年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



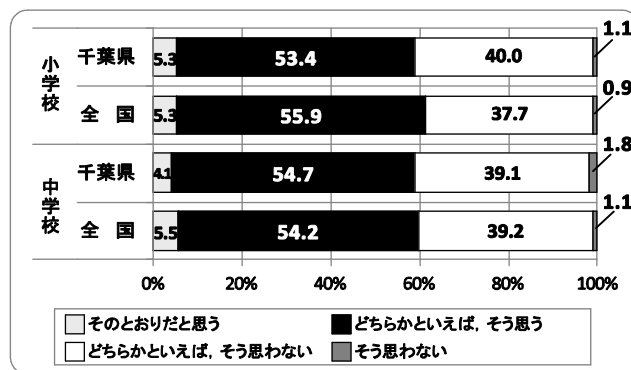
肯定的回答の割合は、児童は全国と同程度であり、生徒はやや低い。

肯定的回答をしている児童生徒ほど、正答率が高い傾向にある。

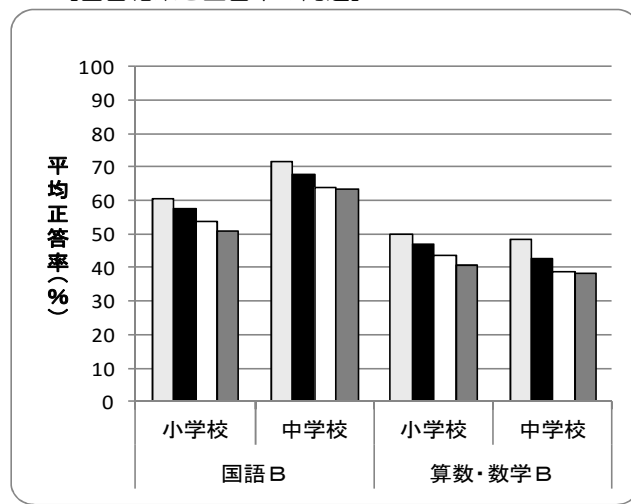
□学校質問紙

21	児童〔生徒〕は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができる（新規）
----	---

【平成28年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



肯定的回答の割合は、小学校は全国よりやや低く、中学校は同程度である。

肯定的回答をしている児童生徒ほど、正答率が高い傾向にある。

小学校教育と中学校教育の連携について

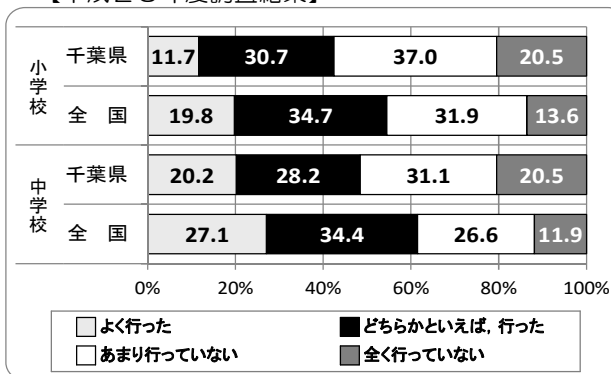
今年度新たに「小学校教育と中学校教育の連携」に関わる質問項目が設けられた。質問項目は、教育目標の共有化、小中合同の授業研究の実施、教員同士の交流、教育課程に関する共通の取組、全国学力・学習状況調査の成果と課題の共有である。児童生徒が9年間の連続した義務教育の中で、順調に成長していくためにも小学校と中学校の連携が求められている。

学校質問紙調査から

質問番号		質 問 事 項	児童(肯定的回答)			生徒(肯定的回答)		
小	中		千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
79	78	前年度までに、近隣等の中学校〔小学校〕と教育目標を共有する取組を行いましたか(新規)	42.4	-12.1	▼	48.4	-13.1	▼
80	79	前年度までに、近隣等の中学校〔小学校〕と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか(新規)	44.9	-17.6	▼	57.0	-15.5	▼
81	80	前年度までに、近隣等の中学校〔小学校〕と、意見を交換し合うなど、教員同士の交流を行いましたか(新規)	71.1	-8.9	▼	72.8	-12.2	▼
82	81	前年度までに、近隣等の中学校〔小学校〕と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか(新規)	39.5	-7.6	▼	43.1	-11.8	▼
83	82	前年度までに、平成27年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校〔小学校〕と成果や課題を共有しましたか(新規)	31.4	-18.1	▼	32.4	-21.5	▼

小 79 中 78	近隣等の中学校〔小学校〕と教育目標を共有する取組を行いましたか(新規)
--------------	-------------------------------------

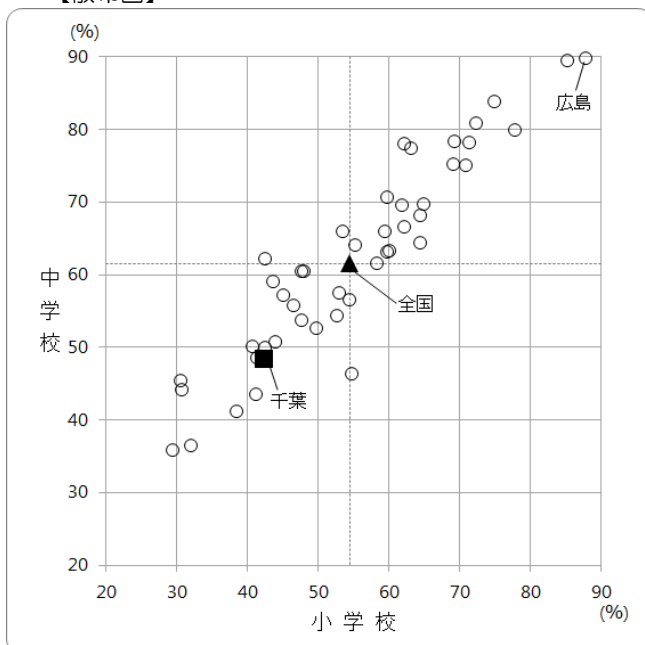
【平成28年度調査結果】



「よく行った」と回答した学校の割合は、小中学校ともに全国より著しく低い。小中学校ともに全国の中で下位に位置している。

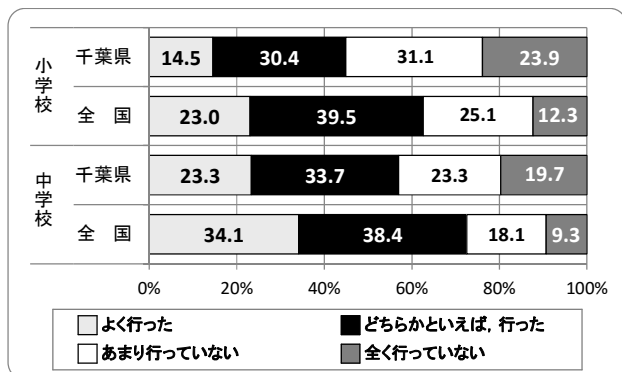
「全く行っていない」と回答した学校の割合は、小中学校ともに全国より高い。

【散布図】



小 80 中 79	近隣等の中学校〔小学校〕と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか（新規）
--------------	---

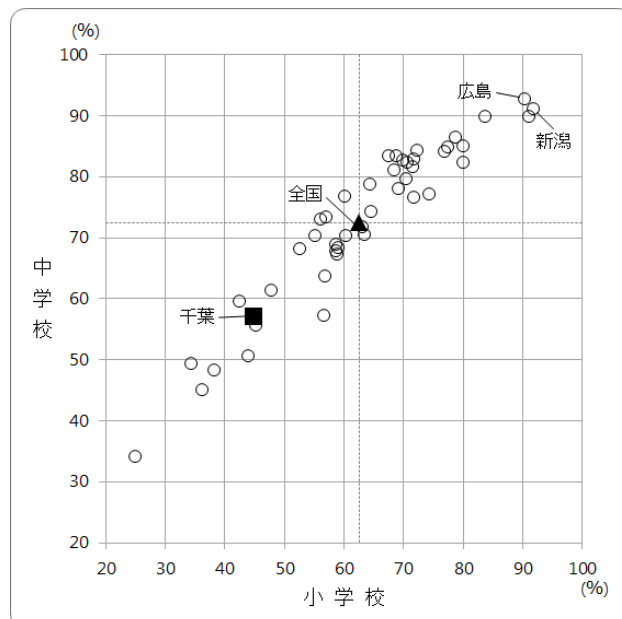
【平成28年度調査結果】



肯定的な回答をした学校の割合は、小中学校ともに全国より著しく低い。小中学校ともに全国の中で下位に位置している。

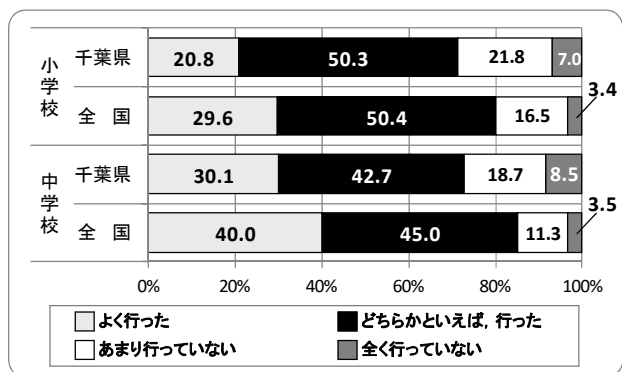
「全く行っていない」割合は、小中学校ともに、全国の約2倍であり、著しく高い。

【散布図】



小 81 中 80	近隣等の中学校〔小学校〕と、意見を交換し合うなど、教員同士の交流を行いましたか（新規）
--------------	---

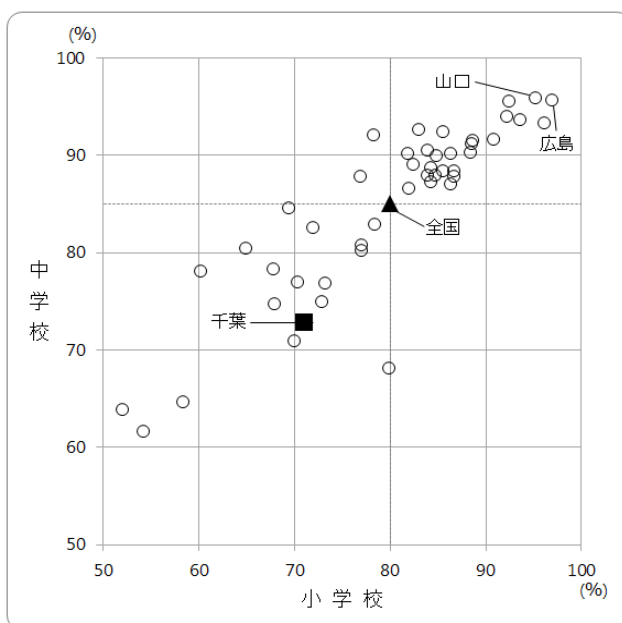
【平成28年度調査結果】



「よく行った」と回答した学校の割合は、小学校は全国より低く、中学校は著しく低い。小中学校ともに全国の中で下位に位置している。

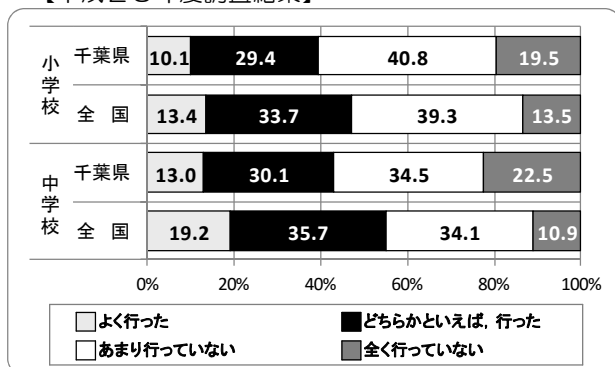
「全く行っていない」割合は、小中学校ともに全国の約2倍である。

【散布図】



小 82	近隣等の中学校〔小学校〕と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、
中 81	教育課程に関する共通の取組を行いましたか（新規）

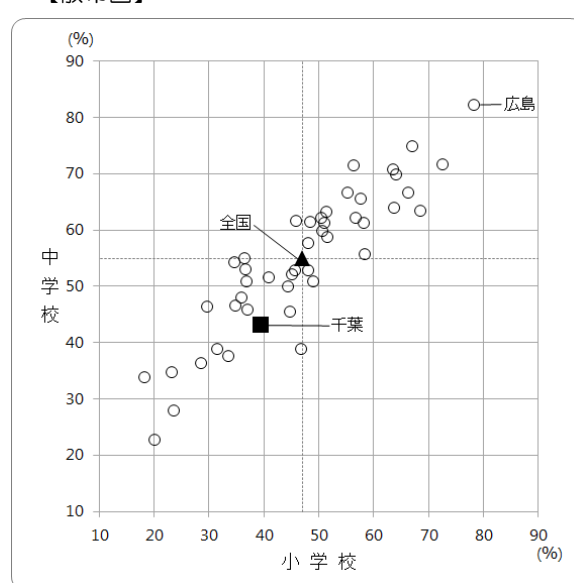
【平成28年度調査結果】



肯定的回答をした学校の割合は、小学校は全国より低く、中学校は著しく低い。

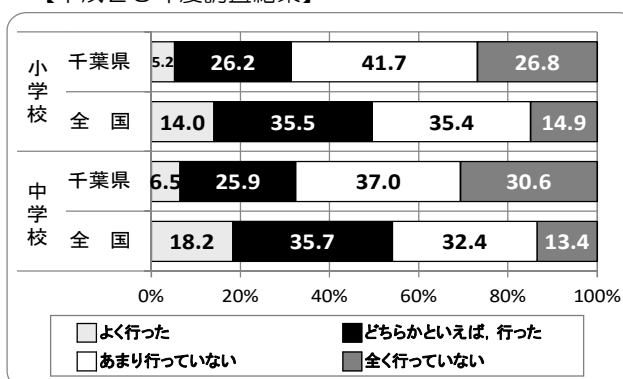
「全く行っていない」割合は、中学校で全国の約2倍であり、著しく高い。

【散布図】



小 83	平成27年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校〔小学校〕と
中 82	成果や課題を共有しましたか（新規）

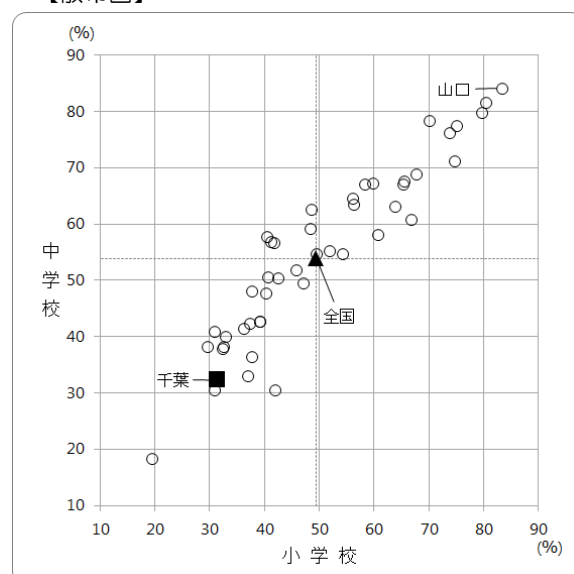
【平成28年度調査結果】



肯定的回答をした学校の割合は、小中学校ともに著しく低い。小中学校ともに全国の中で下位に位置している。

「全く行っていない」割合は、小中学校ともに全国の約2倍であり、著しく高い。

【散布図】



小学校と中学校の連携について、肯定的回答をしている割合は、小中学校ともに、全国を大きく下回り、全国の中で下位に位置している。

小中学校で教育目標を共有するためには、まず、授業研究や研修を合同して行う中で、教員同士がお互いに意見を交換し合い、教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を深めていく必要がある。

小学校と中学校の連携の取りかかりとしては、中学校区を単位とした管理職の連携や市町村教育委員会による支援などの方法が考えられるが、各中学校区の実態に応じて行う必要がある。

指導改善サイクルの確立を目指して

小中学校ともに全国学力・学習状況調査の結果の活用に関する項目に課題がみられた。経年変化を見ると改善傾向にあるが、「学校全体で教育活動を改善するために活用した」「結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行った」「学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行った」について、「よく行った」と回答した学校の割合が全国を大きく下回った。

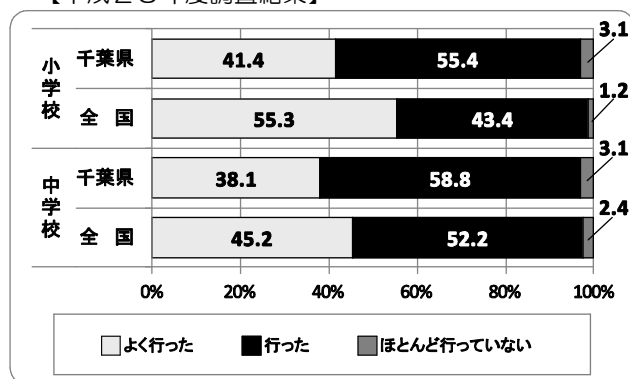
各学校において、調査結果を分析し、分析結果に基づき、自校の成果と課題を明らかにするとともに、指導改善の内容について、全職員が一体となり、家庭・地域と連携して、組織的・計画的に取り組み、指導改善サイクルを確立させることが必要である。

学校質問紙調査から

質問番号		質 問 事 項	小学校(肯定的回答)		中学校(肯定的回答)	
小	中		千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
59	59	前年度の全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか	96.8	-1.9	96.9	-0.5
60	60	前年度の全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	93.1	-3.9	90.9	-3.9
61	61	前年度の全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含みます)	73.7	-17.2 ▼	75.4	-11.5 ▼
62	62	前年度の全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか	75.4	-14.8 ▼	72.0	-11.8 ▼
63	63	全国学力・学習状況調査を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行いましたか	85.1	-8.1 ▼	76.9	-13.1 ▼

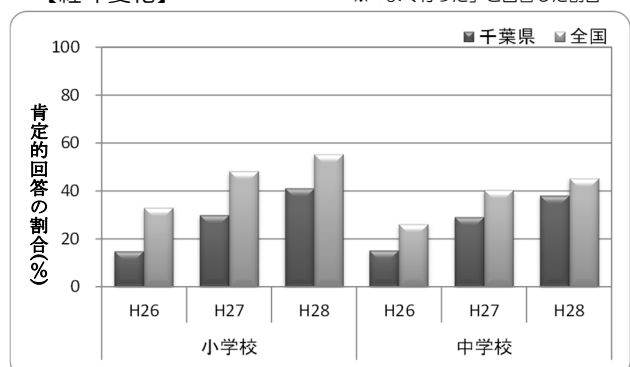
59 前年度の全国学力・学習状況調査の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか

【平成28年度調査結果】

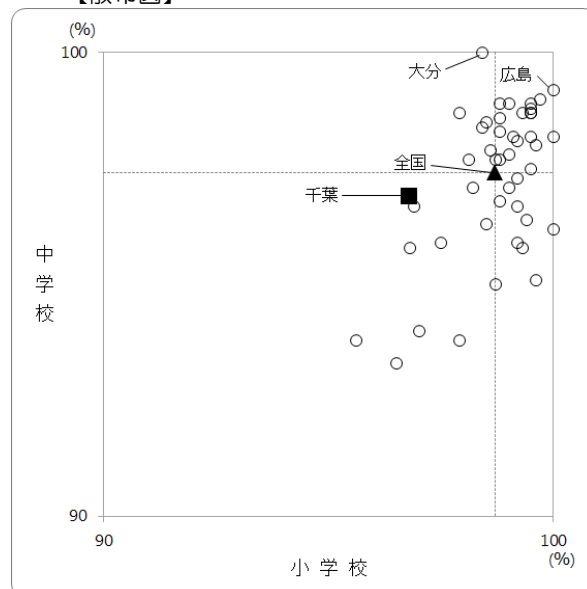


【経年変化】

※「よく行った」と回答した割合



【散布図】

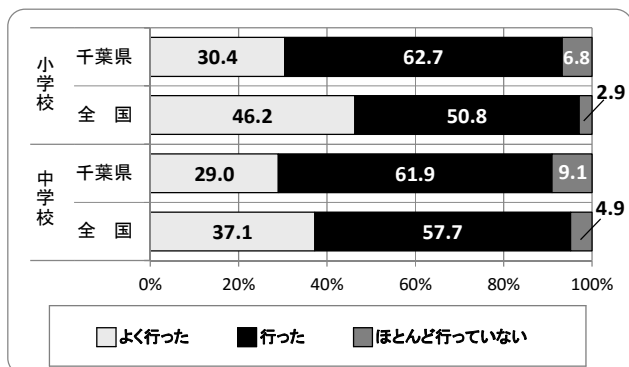


「よく行った」と回答した学校の割合は、小学校は全国よりやや低く、中学校は同程度である。経年変化を見ると小中学校ともに改善傾向にある。

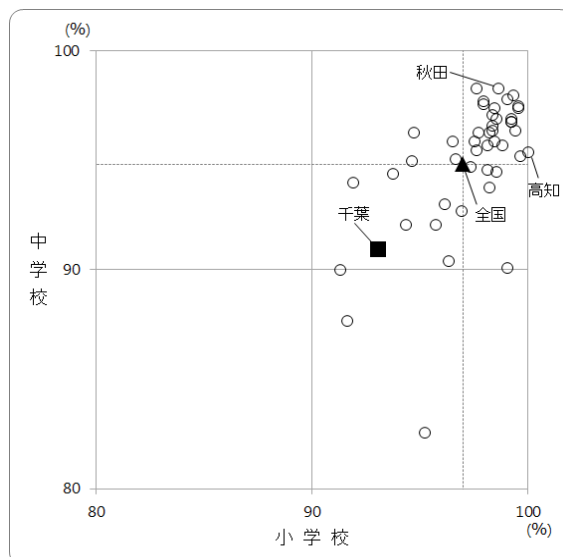
60

前年度の全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

【平成28年度調査結果】

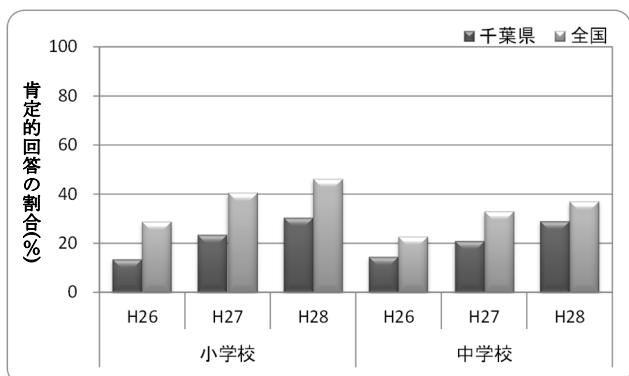


【散布図】



【経年変化】

※「よく行った」と回答した割合

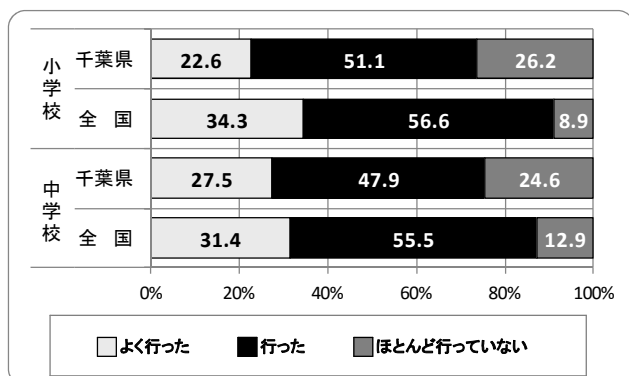


「よく行った」と回答した学校の割合は、小学校が全国より著しく低く、中学校は低い。「ほとんど行っていない」と回答した割合は、小中学校ともに、全国と比べて高い。経年変化を見ると小中学校ともに改善傾向にある。

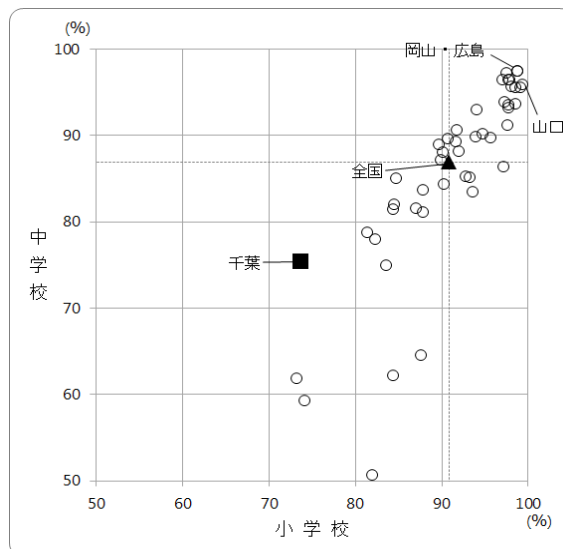
61

前年度の全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか

【平成28年度調査結果】

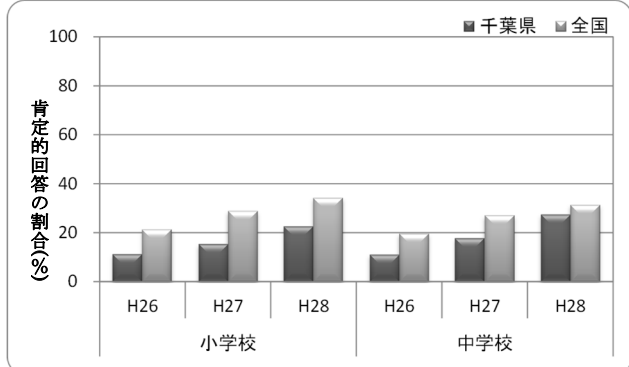


【散布図】



【経年変化】

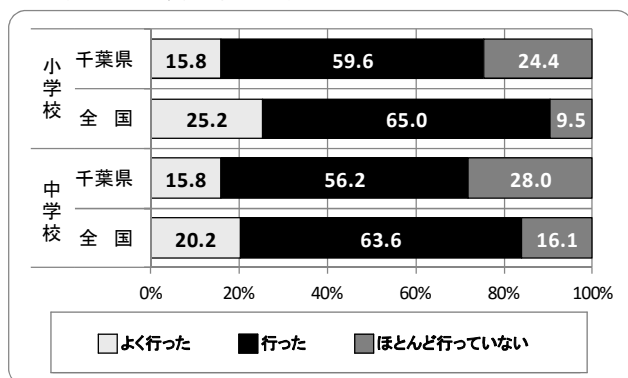
※「よく行った」と回答した割合



肯定的回答をした学校の割合は、小中学校ともに全国より著しく低く、小中学校ともに全国の中で下位に位置している。「ほとんど行っていない」割合は、小中学校ともに、全国より著しく高い。

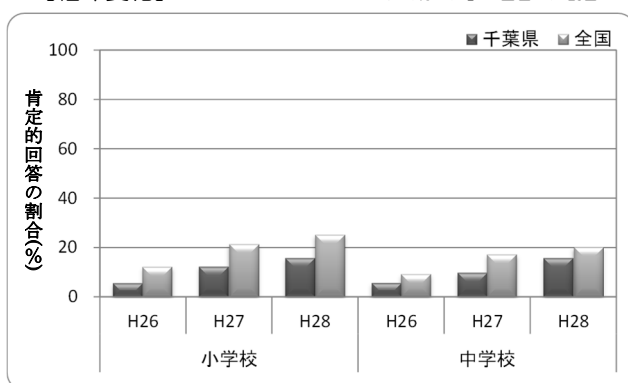
前年度の全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか

【平成28年度調査結果】

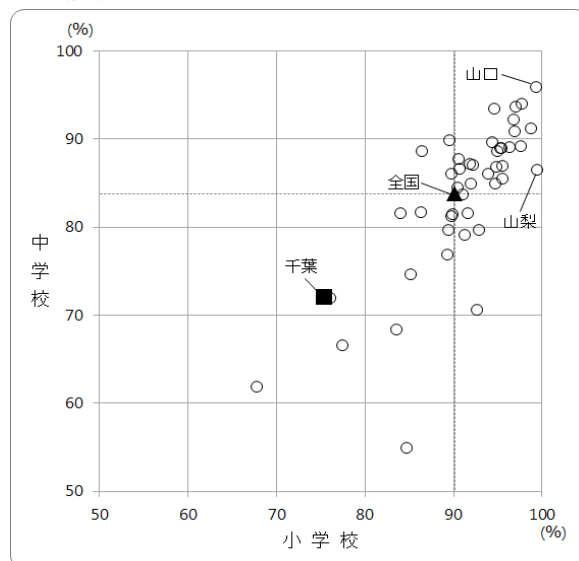


【経年変化】

※「よく行った」と回答した割合



【散布図】



肯定的回答をした学校の割合は、小中学校ともに全国より著しく低く、小中学校ともに全国の中で下位に位置している。

「ほとんど行っていない」割合は、小中学校ともに全国より著しく高い。

